API リファレンス

Amazon MemoryDB

API バージョン 2021-01-01

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon MemoryDB: API リファレンス

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスはAmazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していない他のすべての商標は、それぞれの所有者の所有物であり、Amazon と提携、接続、または後援されている場合とされていない場合があります。

Table of Contents

ようこそ 1
アクション 2
BatchUpdateCluster 4
リクエストの構文 4
リクエストパラメーター 4
レスポンスの構文 4
レスポンス要素 7
エラー 7
以下の資料も参照してください。 7
CopySnapshot 9
リクエストの構文 9
リクエストパラメーター 9
レスポンスの構文 10
レスポンス要素 11
エラー 12
以下の資料も参照してください。 13
CreateACL 14
リクエストの構文 14
リクエストパラメーター 14
レスポンスの構文 15
レスポンス要素 15
エラー 16
以下の資料も参照してください。 16
CreateCluster 18
リクエストの構文 18
リクエストパラメーター 19
レスポンスの構文 24
レスポンス要素 26
エラー 26
以下の資料も参照してください。 28
CreateMultiRegionCluster 30
リクエストの構文 30
リクエストパラメーター 30
レスポンスの構文 32

レスポンス要素 33
エラー 33
以下の資料も参照してください。 34
CreateParameterGroup 35
リクエストの構文 35
リクエストパラメーター 35
レスポンスの構文 36
レスポンス要素 36
エラー 37
以下の資料も参照してください。 37
CreateSnapshot 39
リクエストの構文 39
リクエストパラメーター 39
レスポンスの構文 40
レスポンス要素 41
エラー 41
以下の資料も参照してください。 42
CreateSubnetGroup 43
リクエストの構文 43
リクエストパラメーター 43
レスポンスの構文 44
レスポンス要素 45
エラー 45
以下の資料も参照してください。 46
CreateUser 47
リクエストの構文 47
リクエストパラメーター 47
レスポンスの構文 48
レスポンス要素 49
エラー 49
以下の資料も参照してください。 50
DeleteACL 51
リクエストの構文 51
リクエストパラメーター 51
レスポンスの構文 51
レスポンス要素 52

エラー 52
以下の資料も参照してください。 52
DeleteCluster 54
リクエストの構文 54
リクエストパラメーター 54
レスポンスの構文 55
レスポンス要素 57
エラー 57
以下の資料も参照してください。 58
DeleteMultiRegionCluster 59
リクエストの構文 59
リクエストパラメーター 59
レスポンスの構文 59
レスポンス要素 60
エラー 60
以下の資料も参照してください。 61
DeleteParameterGroup 62
リクエストの構文 62
リクエストパラメーター 62
レスポンスの構文 62
レスポンス要素 63
エラー 63
以下の資料も参照してください。 63
DeleteSnapshot 65
リクエストの構文 65
リクエストパラメーター 65
レスポンスの構文 65
レスポンス要素 66
エラー 66
以下の資料も参照してください。 67
DeleteSubnetGroup 68
リクエストの構文 68
リクエストパラメーター 68
レスポンスの構文 68
レスポンス要素 69
エラー 69

以下の資料も参照してください。 69
DeleteUser 71
リクエストの構文 71
リクエストパラメーター 71
レスポンスの構文 71
レスポンス要素 72
エラー 72
以下の資料も参照してください。 72
DescribeACLs 74
リクエストの構文 74
リクエストパラメーター 74
レスポンスの構文 75
レスポンス要素 75
エラー 76
以下の資料も参照してください。 76
DescribeClusters 77
リクエストの構文 77
リクエストパラメーター 77
レスポンスの構文 78
レスポンス要素 80
エラー 80
以下の資料も参照してください。 81
DescribeEngineVersions 82
リクエストの構文 82
リクエストパラメーター 82
レスポンスの構文 83
レスポンス要素 84
エラー 84
以下の資料も参照してください。 85
DescribeEvents 86
リクエストの構文 86
リクエストパラメーター 86
レスポンスの構文 88
レスポンス要素 88
エラー 88
以下の資料も参照してください。 89

DescribeMultiRegionClusters 90
リクエストの構文 90
リクエストパラメーター 90
レスポンスの構文 91
レスポンス要素 91
エラー 92
以下の資料も参照してください。 92
DescribeParameterGroups 94
リクエストの構文 94
リクエストパラメーター 94
レスポンスの構文 95
レスポンス要素 95
エラー 96
以下の資料も参照してください。 96
DescribeParameters 97
リクエストの構文 97
リクエストパラメーター 97
レスポンスの構文 98
レスポンス要素 98
エラー 99
以下の資料も参照してください。 99
DescribeReservedNodes 100
リクエストの構文 100
リクエストパラメーター 100
レスポンスの構文 102
レスポンス要素 102
エラー 103
以下の資料も参照してください。 103
DescribeReservedNodesOfferings 105
リクエストの構文 105
リクエストパラメーター 105
レスポンスの構文 106
レスポンス要素 107
エラー 107
以下の資料も参照してください。 108
DescribeServiceUpdates 109

リクエストの構文 109
リクエストパラメーター 109
レスポンスの構文 110
レスポンス要素 111
エラー 111
以下の資料も参照してください。 111
DescribeSnapshots 113
リクエストの構文 113
リクエストパラメーター 113
レスポンスの構文 114
レスポンス要素 115
エラー 116
以下の資料も参照してください。 116
DescribeSubnetGroups 118
リクエストの構文 118
リクエストパラメーター 118
レスポンスの構文 119
レスポンス要素 119
エラー 120
以下の資料も参照してください。 120
DescribeUsers 121
リクエストの構文 121
リクエストパラメーター 121
レスポンスの構文 122
レスポンス要素 123
エラー 123
以下の資料も参照してください。 123
FailoverShard 125
リクエストの構文 125
リクエストパラメーター 125
レスポンスの構文 125
レスポンス要素 127
エラー 128
以下の資料も参照してください。 128
ListAllowedMultiRegionClusterUpdates 130
リクエストの構文 130

リクエストパラメーター 130
レスポンスの構文 130
レスポンス要素 130
エラー 131
以下の資料も参照してください。 131
ListAllowedNodeTypeUpdates 133
リクエストの構文 133
リクエストパラメーター 133
レスポンスの構文 133
レスポンス要素 133
エラー 134
以下の資料も参照してください。 134
ListTags 136
リクエストの構文 136
リクエストパラメーター 136
レスポンスの構文 136
レスポンス要素 137
エラー 137
以下の資料も参照してください。 138
PurchaseReservedNodesOffering 140
リクエストの構文 140
リクエストパラメーター 140
レスポンスの構文 141
レスポンス要素 142
エラー 142
以下の資料も参照してください。 143
ResetParameterGroup 144
リクエストの構文 144
リクエストパラメーター 144
レスポンスの構文 145
レスポンス要素 145
エラー 145
以下の資料も参照してください。 146
TagResource 147
リクエストの構文 147
リクエストパラメーター 147

レスポンスの構文 148
レスポンス要素 148
エラー 148
以下の資料も参照してください。 150
UntagResource 151
リクエストの構文 151
リクエストパラメーター 151
レスポンスの構文 152
レスポンス要素 152
エラー 152
以下の資料も参照してください。 154
UpdateACL 155
リクエストの構文 155
リクエストパラメーター 155
レスポンスの構文 156
レスポンス要素 156
エラー 156
以下の資料も参照してください。 157
UpdateCluster 159
リクエストの構文 159
リクエストパラメーター 159
レスポンスの構文 163
レスポンス要素 165
エラー 165
以下の資料も参照してください。 167
UpdateMultiRegionCluster 168
リクエストの構文 168
リクエストパラメーター 168
レスポンスの構文 169
レスポンス要素 170
エラー 170
以下の資料も参照してください。 171
UpdateParameterGroup 172
リクエストの構文 172
リクエストパラメーター 172
レスポンスの構文 173

レスポンス要素 173
エラー 173
以下の資料も参照してください。 174
UpdateSubnetGroup 175
リクエストの構文 175
リクエストパラメーター 175
レスポンスの構文 176
レスポンス要素 176
エラー 176
以下の資料も参照してください。 177
UpdateUser 178
リクエストの構文 178
リクエストパラメーター 178
レスポンスの構文 179
レスポンス要素 179
エラー 179
以下の資料も参照してください。 180
データ型 181
ACL 183
内容 183
以下の資料も参照してください。 184
ACLPendingChanges 185
内容 185
以下の資料も参照してください。 185
ACLsUpdateStatus 186
内容 186
以下の資料も参照してください。 186
Authentication 187
内容 187
以下の資料も参照してください。 187
AuthenticationMode 188
内容 188
以下の資料も参照してください。 188
AvailabilityZone 189
内容 189
以下の資料も参照してください。 189

Cluster 190
内容 190
以下の資料も参照してください。 195
ClusterConfiguration 197
内容 197
以下の資料も参照してください。 200
ClusterPendingUpdates 201
内容 201
以下の資料も参照してください。 201
Endpoint 202
内容 202
以下の資料も参照してください。 202
EngineVersionInfo 203
内容 203
以下の資料も参照してください。 203
Event 205
内容 205
以下の資料も参照してください。 206
Filter 207
内容 207
以下の資料も参照してください。 207
MultiRegionCluster 208
内容 208
以下の資料も参照してください。 210
Node 211
内容 211
以下の資料も参照してください。 212
Parameter 213
内容 213
以下の資料も参照してください。 214
ParameterGroup 215
内容 215
以下の資料も参照してください。 215
ParameterNameValue 217
内容 217
以下の資料も参照してください。 217

PendingModifiedServiceUpdate 218
内容 218
以下の資料も参照してください。 218
RecurringCharge 219
内容 219
以下の資料も参照してください。 219
RegionalCluster 220
内容 220
以下の資料も参照してください。 220
ReplicaConfigurationRequest 222
内容 222
以下の資料も参照してください。 222
ReservedNode 223
内容 223
以下の資料も参照してください。 225
ReservedNodesOffering 226
内容 226
以下の資料も参照してください。 227
ReshardingStatus 228
内容 228
以下の資料も参照してください。 228
SecurityGroupMembership 229
内容 229
以下の資料も参照してください。 229
ServiceUpdate 230
内容 230
以下の資料も参照してください。 231
ServiceUpdateRequest 233
内容 233
以下の資料も参照してください。 233
Shard 234
内容 234
以下の資料も参照してください。 235
ShardConfiguration 236
内容 236
以下の資料も参照してください。 236

ShardConfigurationRequest 237
内容 237
以下の資料も参照してください。 237
ShardDetail 238
内容 238
以下の資料も参照してください。 238
SlotMigration 240
内容 240
以下の資料も参照してください。 240
Snapshot 241
内容 241
以下の資料も参照してください。 242
Subnet 243
内容 243
以下の資料も参照してください。 243
SubnetGroup 245
内容 245
以下の資料も参照してください。 246
Tag 247
内容 247
以下の資料も参照してください。 247
UnprocessedCluster 248
内容 248
以下の資料も参照してください。 248
User 249
内容 249
以下の資料も参照してください。 250
共通パラメータ 251
共通エラー 254
..... cclvi

ようこそ

MemoryDB は、フルマネージド Redis OSS 互換のインメモリデータベースで、マイクロサービスアーキテクチャを使用して構築された最新のアプリケーションに超高速のパフォーマンスとマルチ AZ 耐久性を提供します。MemoryDB はデータベース全体をメモリ内に保存するため、低レイテンシーで高スループットのデータアクセスが可能になります。一般的なオープンソースデータストアである Redis OSS と互換性があり、Redis OSS の柔軟でわかりやすいデータ構造、APIs、コマンドを活用できます。

このドキュメントは、2025 年 6 月 30 日に最後に公開されました。

アクション

以下のアクションがサポートされています:

- BatchUpdateCluster
- CopySnapshot
- CreateACL
- CreateCluster
- CreateMultiRegionCluster
- CreateParameterGroup
- CreateSnapshot
- CreateSubnetGroup
- CreateUser
- DeleteACL
- DeleteCluster
- DeleteMultiRegionCluster
- DeleteParameterGroup
- DeleteSnapshot
- DeleteSubnetGroup
- DeleteUser
- DescribeACLs
- DescribeClusters
- DescribeEngineVersions
- DescribeEvents
- DescribeMultiRegionClusters
- DescribeParameterGroups
- DescribeParameters
- DescribeReservedNodes
- DescribeReservedNodesOfferings
- DescribeServiceUpdates
- DescribeSnapshots

- DescribeSubnetGroups
- DescribeUsers
- FailoverShard
- ListAllowedMultiRegionClusterUpdates
- ListAllowedNodeTypeUpdates
- ListTags
- PurchaseReservedNodesOffering
- ResetParameterGroup
- TagResource
- UntagResource
- UpdateACL
- UpdateCluster
- UpdateMultiRegionCluster
- UpdateParameterGroup
- UpdateSubnetGroup
- UpdateUser

BatchUpdateCluster

提供されたクラスターのリストにサービスの更新を適用します。サービスアップデートとその適用の詳細については、「Applying the service updates」を参照してください。

リクエストの構文

```
{
   "ClusterNames": [ "string" ],
   "ServiceUpdate": {
      "ServiceUpdateNameToApply": "string"
   }
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ClusterNames

更新を適用するクラスター名。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最大数は 20 項目です。

必須: はい

ServiceUpdate

サービス更新の一意の ID

型: ServiceUpdateRequest オブジェクト

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
```

```
    "ProcessedClusters": [
       {
          "ACLName": "string",
          "ARN": "string",
          "AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
          "AvailabilityMode": "string",
          "ClusterEndpoint": {
             "Address": "string",
             "Port": number
          },
          "DataTiering": "string",
          "Description": "string",
          "Engine": "string",
          "EnginePatchVersion": "string",
          "EngineVersion": "string",
          "IpDiscovery": "string",
          "KmsKeyId": "string",
          "MaintenanceWindow": "string",
          "MultiRegionClusterName": "string",
          "Name": "string",
          "NetworkType": "string",
          "NodeType": "string",
          "NumberOfShards": number,
          "ParameterGroupName": "string",
          "ParameterGroupStatus": "string",
          "PendingUpdates": {
             "ACLs": {
                "ACLToApply": "string"
             },
             "Resharding": {
                "SlotMigration": {
                   "ProgressPercentage": number
                }
             },
             "ServiceUpdates": [
                {
                   "ServiceUpdateName": "string",
                   "Status": "string"
                }
             ]
          },
          "SecurityGroups": [
             {
                "SecurityGroupId": "string",
```

```
                "Status": "string"
            }
        ],
        "Shards": [
            {
                "Name": "string",
                "Nodes": [
                    {
                        "AvailabilityZone": "string",
                        "CreateTime": number,
                        "Endpoint": {
                            "Address": "string",
                            "Port": number
                        },
                        "Name": "string",
                        "Status": "string"
                    }
                ],
                "NumberOfNodes": number,
                "Slots": "string",
                "Status": "string"
            }
        ],
        "SnapshotRetentionLimit": number,
        "SnapshotWindow": "string",
        "SnsTopicArn": "string",
        "SnsTopicStatus": "string",
        "Status": "string",
        "SubnetGroupName": "string",
        "TLSEnabled": boolean
    }
],
"UnprocessedClusters": [
    {
        "ClusterName": "string",
        "ErrorMessage": "string",
        "ErrorType": "string"
    }
]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ProcessedClusters

更新されたクラスターのリスト。

型: Cluster オブジェクトの配列

UnprocessedClusters

更新が適用されていないクラスターのリスト。

型: UnprocessedCluster オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ServiceUpdateNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2

- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

CopySnapshot

既存のスナップショットのコピーを作成します。

リクエストの構文

```
{
   "KmsKeyId": "string",
   "SourceSnapshotName": "string",
   "Tags": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
   ],
   "TargetBucket": "string",
   "TargetSnapshotName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

KmsKeyId

ターゲットスナップショットを暗号化するための KMS キーの ID。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最大長は 2,048 です。

必須: いいえ

SourceSnapshotName

コピーを作成する元の既存のスナップショット名

タイプ: 文字列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

TargetBucket

スナップショットのエクスポート先の Amazon S3 バケット。このパラメータは、外部アクセス用にスナップショットをエクスポートする場合にのみ使用されます。このパラメータを使用してスナップショットをエクスポートするときは、MemoryDB にこの S3 バケットに必要なアクセス許可があることを確認してください。詳細については、「Step 2: Grant MemoryDB Access to Your Amazon S3 Bucket」を参照してください。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最大長は 255 です。

パターン: `^[A-Za-z0-9._-]+$`

必須: いいえ

TargetSnapshotName

スナップショットコピーの名前。MemoryDB ではスナップショットの上書きは許可されていないため、この名前はコンテキスト (エクスポートする場合は MemoryDB または Amazon S3 バケット) 内で一意である必要があります。

タイプ: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "Snapshot": {
```

```
        "ARN": "string",
        "ClusterConfiguration": {
           "Description": "string",
           "Engine": "string",
           "EngineVersion": "string",
           "MaintenanceWindow": "string",
           "MultiRegionClusterName": "string",
           "MultiRegionParameterGroupName": "string",
           "Name": "string",
           "NodeType": "string",
           "NumShards": number,
           "ParameterGroupName": "string",
           "Port": number,
           "Shards": [
              {
                 "Configuration": {
                    "ReplicaCount": number,
                    "Slots": "string"
                 },
                 "Name": "string",
                 "Size": "string",
                 "SnapshotCreationTime": number
              }
           ],
           "SnapshotRetentionLimit": number,
           "SnapshotWindow": "string",
           "SubnetGroupName": "string",
           "TopicArn": "string",
           "VpcId": "string"
        },
        "DataTiering": "string",
        "KmsKeyId": "string",
        "Name": "string",
        "Source": "string",
        "Status": "string"
    }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Snapshot

スナップショットが作成された時点のクラスター全体のコピーを表します。

型: Snapshot オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidSnapshotStateFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SnapshotAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード: 400

SnapshotNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SnapshotQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

CreateACL

アクセスコントロールリストを作成します。詳細については、アクセスコントロールリスト (ACL) によるユーザーの認証を参照してください。

リクエストの構文

```
{
   "ACLName": "string",
   "Tags": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
   ],
   "UserNames": [ "string" ]
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ACLName

アクセスコントロールリストの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

UserNames

アクセスコントロールリストに属するユーザのリスト。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。

長さの制限：最小長 1、

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "ACL": {
      "ARN": "string",
      "Clusters": [ "string" ],
      "MinimumEngineVersion": "string",
      "Name": "string",
      "PendingChanges": {
         "UserNamesToAdd": [ "string" ],
         "UserNamesToRemove": [ "string" ]
      },
      "Status": "string",
      "UserNames": [ "string" ]
   }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ACL

新しく作成されたアクセスコントロールリスト。

型: ACL オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ACLAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード: 400

ACLQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

DefaultUserRequired

HTTP ステータスコード: 400

DuplicateUserNameFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード: 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス

- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

CreateCluster

クラスターを作成します。クラスターのすべてのノードで、同じプロトコルに準拠するエンジンソフトウェアが実行されます。

リクエストの構文

```
{
   "ACLName": "string",
   "AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
   "ClusterName": "string",
   "DataTiering": boolean,
   "Description": "string",
   "Engine": "string",
   "EngineVersion": "string",
   "IpDiscovery": "string",
   "KmsKeyId": "string",
   "MaintenanceWindow": "string",
   "MultiRegionClusterName": "string",
   "NetworkType": "string",
   "NodeType": "string",
   "NumReplicasPerShard": number,
   "NumShards": number,
   "ParameterGroupName": "string",
   "Port": number,
   "SecurityGroupIds": [ "string" ],
   "SnapshotArns": [ "string" ],
   "SnapshotName": "string",
   "SnapshotRetentionLimit": number,
   "SnapshotWindow": "string",
   "SnsTopicArn": "string",
   "SubnetGroupName": "string",
   "Tags": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
   ],
   "TLSEnabled": boolean
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ACLName

クラスターに関連付けられているアクセスコントロールリストの名前。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: はい

AutoMinorVersionUpgrade

true に設定すると、クラスターは、起動後にマイナーエンジンバージョンのアップグレードを自動的に受信します。

型: ブール値

必須: いいえ

ClusterName

クラスターの名前。この値は、クラスター識別子としても機能するため、一意である必要があります。

タイプ: 文字列

必須: はい

DataTiering

データの階層化を有効にします。データ階層化は、r6gd ノードタイプを使用するクラスターでのみサポートされます。r6gd ノードを使用する場合は、このパラメータを設定する必要があります。詳細については、データ階層化を参照してください。

型: ブール値

必須: いいえ

Description

クラスターの説明 (任意)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Engine

クラスターに使用するエンジンの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

クラスターに使用する Redis OSS エンジンのバージョン番号。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

IpDiscovery

クラスター検出プロトコルの IP アドレスを検出するメカニズム。有効な値は「ipv4」または「ipv6」です。「ipv4」に設定すると、クラスタースロット、クラスターシャード、クラスターノードなどのクラスター検出関数は、クラスターノードの IPv4 アドレスを返します。「ipv6」に設定すると、クラスター検出関数はクラスターノードの IPv6 アドレスを返します。値は NetworkType パラメータと互換性がある必要があります。指定しない場合、デフォルトは「ipv4」です。

型: 文字列

有効な値：`ipv4 | ipv6`

必須：いいえ

KmsKeyId

クラスターの暗号化に使用される KMS キーの ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaintenanceWindow

クラスターの週次メンテナンスを実行する時間範囲を指定します。範囲は ddd:hh24:mi-ddd:hh24:mi (UTC 24 時間制) の形式で指定します。最短メンテナンス期間は 60 分です。

ddd の有効値は、次のとおりです。

- `sun`
- `mon`
- `tue`
- `wed`
- `thu`
- `fri`
- `sat`

例: `sun:23:00-mon:01:30`

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MultiRegionClusterName

作成するマルチリージョンクラスターの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NetworkType

クラスターの IP アドレスタイプを指定します。有効な値は「ipv4」、「ipv6」、または「dual_stack」です。「ipv4」に設定すると、クラスターには IPv4 アドレス経由でのみアクセスできます。「ipv6」に設定すると、クラスターには IPv6 アドレス経由でのみアクセスできます。「dual_stack」に設定すると、クラスターは IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方からアクセスできます。指定しない場合、デフォルトは「ipv4」です。

型: 文字列

有効な値：`ipv4 | ipv6 | dual_stack`

必須：いいえ

NodeType

クラスター内のノードのコンピューティング能力とメモリ容量。

タイプ: 文字列

必須: はい

NumReplicasPerShard

各シャードに適用するレプリカの数。デフォルト値は 1 です。最大数は 5 です。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NumShards

クラスターに含まれるシャードの数。デフォルト値は 1 です。

タイプ: 整数

必須: いいえ

ParameterGroupName

このクラスターに関連付けられたパラメータグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Port

各ノードが接続を受け付けるポート番号。

タイプ: 整数

必須: いいえ

SecurityGroupIds

このクラスターに関連付けるセキュリティグループ名のリスト。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

SnapshotArns

Amazon S3 に保存されている RDB スナップショットファイルを一意に識別する Amazon リソースネーム (ARN) のリスト。スナップショットファイルは、新しいクラスターを作成するために使用されます。ARN 内の Amazon S3 オブジェクト名にカンマを含めることはできません。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

SnapshotName

新しいクラスターにデータを復元するスナップショットの名前。新しいクラスターの作成中は、スナップショットのステータスがリストア中に変わります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnapshotRetentionLimit

MemoryDB によって自動スナップショットが保持される日数。この日数を超えると、自動スナップショットは削除されます。例えば、SnapshotRetentionLimit を 5 に設定すると、今日取得したスナップショットは 5 日間保持され、その後削除されます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

SnapshotWindow

MemoryDB が、シャードの毎日のスナップショットの取得を開始する毎日の時間範囲 (UTC)。

例: 5:00 ~ 9:00

このパラメータを指定しないと、MemoryDB によって自動的に適切な時間範囲が選択されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnsTopicArn

通知の送信先である Amazon Simple Notification Service (SNS) トピックの Amazon リソースネーム (ARN)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SubnetGroupName

クラスターに使用されるサブネットグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはカンマで区切られたキーと値のペア (例: キー = myKey、値 = myKeyValue) です。次に示すように複数のタグを含めることができます。キー = myKey、値 = myKeyValue キー = mySecondKey、値 = mySecondKeyValue。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

TLSEnabled

転送時の暗号化をクラスターで有効にできるフラグ。

型: ブール値

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "Cluster": {
      "ACLName": "string",
      "ARN": "string",
      "AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
      "AvailabilityMode": "string",
      "ClusterEndpoint": {
         "Address": "string",
         "Port": number
      },
      "DataTiering": "string",
      "Description": "string",
      "Engine": "string",
```

```
        "EnginePatchVersion": "string",
        "EngineVersion": "string",
        "IpDiscovery": "string",
        "KmsKeyId": "string",
        "MaintenanceWindow": "string",
        "MultiRegionClusterName": "string",
        "Name": "string",
        "NetworkType": "string",
        "NodeType": "string",
        "NumberOfShards": number,
        "ParameterGroupName": "string",
        "ParameterGroupStatus": "string",
        "PendingUpdates": {
           "ACLs": {
              "ACLToApply": "string"
           },
           "Resharding": {
              "SlotMigration": {
                 "ProgressPercentage": number
              }
           },
           "ServiceUpdates": [
              {
                 "ServiceUpdateName": "string",
                 "Status": "string"
              }
           ]
        },
        "SecurityGroups": [
           {
              "SecurityGroupId": "string",
              "Status": "string"
           }
        ],
        "Shards": [
           {
              "Name": "string",
              "Nodes": [
                 {
                    "AvailabilityZone": "string",
                    "CreateTime": number,
                    "Endpoint": {
                       "Address": "string",
                       "Port": number
```

```
                    },
                    "Name": "string",
                    "Status": "string"
                }
            ],
            "NumberOfNodes": number,
            "Slots": "string",
            "Status": "string"
        }
    ],
    "SnapshotRetentionLimit": number,
    "SnapshotWindow": "string",
    "SnsTopicArn": "string",
    "SnsTopicStatus": "string",
    "Status": "string",
    "SubnetGroupName": "string",
    "TLSEnabled": boolean
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Cluster

新しく作成されたクラスター。

型: Cluster オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ClusterAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード: 400

ClusterQuotaForCustomerExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

InsufficientClusterCapacityFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidACLStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidCredentialsException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidMultiRegionClusterStateFault

リクエストされたオペレーションは、現在の状態のマルチリージョンクラスターでは実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidVPCNetworkStateFault

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionClusterNotFoundFault

指定されたマルチリージョンクラスターは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

NodeQuotaForClusterExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

NodeQuotaForCustomerExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ShardsPerClusterQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin

- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

CreateMultiRegionCluster

新しいマルチリージョンクラスターを作成します。

リクエストの構文

```
{
   "Description": "string",
   "Engine": "string",
   "EngineVersion": "string",
   "MultiRegionClusterNameSuffix": "string",
   "MultiRegionParameterGroupName": "string",
   "NodeType": "string",
   "NumShards": number,
   "Tags": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
   ],
   "TLSEnabled": boolean
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

Description

マルチリージョンクラスターの説明。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Engine

マルチリージョンクラスターに使用されるエンジンの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

マルチリージョンクラスターに使用されるエンジンのバージョン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MultiRegionClusterNameSuffix

マルチリージョンクラスター名に追加するサフィックス。Amazon MemoryDB は、作成時にマルチリージョンクラスター名にプレフィックスを自動的に適用します。各 Amazon リージョンには独自のプレフィックスがあります。たとえば、US-West-1 リージョンで作成されたマルチリージョンクラスター名は、指定したサフィックス名とともに「virxk」で始まります。サフィックスは、複数のリージョンにわたるマルチリージョンクラスター名の一意性を保証します。

タイプ: 文字列

必須: はい

MultiRegionParameterGroupName

クラスターに関連付けるマルチリージョンパラメータグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

マルチリージョンクラスターに使用されるノードタイプ。

タイプ: 文字列

必須: はい

NumShards

マルチリージョンクラスターのシャードの数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

Tags

マルチリージョンクラスターに適用するタグのリスト。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

TLSEnabled

マルチリージョンクラスターの TLS 暗号化を有効にするかどうか。

型: ブール値

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "MultiRegionCluster": {
      "ARN": "string",
      "Clusters": [
         {
            "ARN": "string",
            "ClusterName": "string",
            "Region": "string",
            "Status": "string"
         }
      ],
      "Description": "string",
      "Engine": "string",
      "EngineVersion": "string",
      "MultiRegionClusterName": "string",
      "MultiRegionParameterGroupName": "string",
      "NodeType": "string",
      "NumberOfShards": number,
      "Status": "string",
      "TLSEnabled": boolean
   }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

MultiRegionCluster

新しく作成されたマルチリージョンクラスターに関する詳細。

型: MultiRegionCluster オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ClusterQuotaForCustomerExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionClusterAlreadyExistsFault

指定された名前のマルチリージョンクラスターが既に存在します。

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionParameterGroupNotFoundFault

指定されたマルチリージョンパラメータグループは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

CreateParameterGroup

MemoryDB パラメータグループを作成します。パラメータグループは、任意のクラスターのノード内のすべてのノードに適用されるパラメータとその値のコレクションです。詳細については、パラメータグループを使用したエンジンパラメータの設定を参照してください。

リクエストの構文

```
{
   "Description": "string",
   "Family": "string",
   "ParameterGroupName": "string",
   "Tags": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
   ]
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

Description

パラメータグループの説明 (任意)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Family

キャッシュパラメータグループを使用できるキャッシュパラメータグループファミリーの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

ParameterGroupName

パラメータグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "ParameterGroup": {
      "ARN": "string",
      "Description": "string",
      "Family": "string",
      "Name": "string"
   }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ParameterGroup

新しく作成されたパラメータグループ。

型: ParameterGroup オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterGroupStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

CreateSnapshot

特定の時点でクラスター全体のコピーを作成します。

リクエストの構文

```
{
   "ClusterName": "string",
   "KmsKeyId": "string",
   "SnapshotName": "string",
   "Tags": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
   ]
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ClusterName

スナップショットはこのクラスターから作成されます。

タイプ: 文字列

必須: はい

KmsKeyId

スナップショットの暗号化に使用される KMS キーの ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnapshotName

作成されるスナップショットの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "Snapshot": {
      "ARN": "string",
      "ClusterConfiguration": {
         "Description": "string",
         "Engine": "string",
         "EngineVersion": "string",
         "MaintenanceWindow": "string",
         "MultiRegionClusterName": "string",
         "MultiRegionParameterGroupName": "string",
         "Name": "string",
         "NodeType": "string",
         "NumShards": number,
         "ParameterGroupName": "string",
         "Port": number,
         "Shards": [
            {
               "Configuration": {
                  "ReplicaCount": number,
                  "Slots": "string"
               },
               "Name": "string",
               "Size": "string",
               "SnapshotCreationTime": number
            }
         ],
```

```
            "SnapshotRetentionLimit": number,
            "SnapshotWindow": "string",
            "SubnetGroupName": "string",
            "TopicArn": "string",
            "VpcId": "string"
        },
        "DataTiering": "string",
        "KmsKeyId": "string",
        "Name": "string",
        "Source": "string",
        "Status": "string"
    }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Snapshot

新しく作成されたスナップショット。

型: Snapshot オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SnapshotAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード: 400

SnapshotQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

CreateSubnetGroup

サブネットグループを作成します。サブネットグループ は、Amazon Virtual Private Cloud (VPC) 環境で実行しているクラスターに対して指定できるサブネット (通常はプライベート) の集合です。Amazon VPC でクラスターを作成する際に、サブネットグループを指定する必要があります。MemoryDB はそのサブネットグループを使用して、そのサブネット内でノードに関連付けるサブネットおよび IP アドレスを選択します。詳細については、サブネットとサブネットグループを参照してください。

リクエストの構文

```
{
   "Description": "string",
   "SubnetGroupName": "string",
   "SubnetIds": [ "string" ],
   "Tags": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
   ]
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

Description

サブネットグループの説明。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SubnetGroupName

サブネットグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

SubnetIds

サブネットグループの VPC サブネット ID のリスト。

型: 文字列の配列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "SubnetGroup": {
      "ARN": "string",
      "Description": "string",
      "Name": "string",
      "Subnets": [
         {
            "AvailabilityZone": {
               "Name": "string"
            },
            "Identifier": "string",
            "SupportedNetworkTypes": [ "string" ]
         }
      ],
      "SupportedNetworkTypes": [ "string" ],
      "VpcId": "string"
   }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

SubnetGroup

新しく作成されたサブネットグループ。

型: SubnetGroup オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidSubnet

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetGroupAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetGroupQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetNotAllowedFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

CreateUser

MemoryDB ユーザーを作成します。詳細については、アクセスコントロールリスト (ACL) によるユーザーの認証を参照してください。

リクエストの構文

```
{
   "AccessString": "string",
   "AuthenticationMode": {
      "Passwords": [ "string" ],
      "Type": "string"
   },
   "Tags": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
   ],
   "UserName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

AccessString

このユーザーに使用されるアクセス許可文字列。

タイプ: 文字列

Pattern: `.*\S.*`

必須: はい

AuthenticationMode

認証にパスワードが必要かどうかなど、ユーザーの認証プロパティを示します。

型: AuthenticationMode オブジェクト

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

UserName

ユーザーの名前。この値はユーザー識別子の機能も果たすため、一意でなければなりません。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "User": {
      "AccessString": "string",
      "ACLNames": [ "string" ],
      "ARN": "string",
      "Authentication": {
         "PasswordCount": number,
         "Type": "string"
      },
      "MinimumEngineVersion": "string",
      "Name": "string",
      "Status": "string"
   }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

User

新しく作成されたユーザー。

型: User オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

DuplicateUserNameFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード: 400

UserAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード: 400

UserQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DeleteACL

アクセスコントロールリストを削除します。ACL を削除する前に、クラスターとの関連付けを解除する必要があります。詳細については、アクセスコントロールリスト (ACL) によるユーザーの認証を参照してください。

リクエストの構文

```
{
   "ACLName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ACLName

削除するアクセスコントロールリストの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "ACL": {
      "ARN": "string",
      "Clusters": [ "string" ],
      "MinimumEngineVersion": "string",
      "Name": "string",
      "PendingChanges": {
         "UserNamesToAdd": [ "string" ],
         "UserNamesToRemove": [ "string" ]
      },
      "Status": "string",
```

```
        "UserNames": [ "string" ]
    }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ACL

削除されたアクセスコントロールリストオブジェクト。

型: ACL オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidACLStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DeleteCluster

クラスターを削除します。また、関連付けられたすべてのノードとノードエンドポイントも削除されます。

> **Note**
>
> 最終スナップショットを作成するには、`CreateSnapshot` アクセス許可が必要です。このアクセス許可がない場合、API コールは `Access Denied` 例外で失敗します。

リクエストの構文

```
{
   "ClusterName": "string",
   "FinalSnapshotName": "string",
   "MultiRegionClusterName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ClusterName

削除するクラスターの名前

タイプ: 文字列

必須: はい

FinalSnapshotName

ユーザーが指定する、クラスターの最終スナップショットの名前。これは、スナップショットを識別する一意の名前です。MemoryDB はスナップショットを作成し、その直後にクラスターを削除します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MultiRegionClusterName

削除するマルチリージョンクラスターの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "Cluster": {
      "ACLName": "string",
      "ARN": "string",
      "AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
      "AvailabilityMode": "string",
      "ClusterEndpoint": {
         "Address": "string",
         "Port": number
      },
      "DataTiering": "string",
      "Description": "string",
      "Engine": "string",
      "EnginePatchVersion": "string",
      "EngineVersion": "string",
      "IpDiscovery": "string",
      "KmsKeyId": "string",
      "MaintenanceWindow": "string",
      "MultiRegionClusterName": "string",
      "Name": "string",
      "NetworkType": "string",
      "NodeType": "string",
      "NumberOfShards": number,
      "ParameterGroupName": "string",
      "ParameterGroupStatus": "string",
      "PendingUpdates": {
         "ACLs": {
            "ACLToApply": "string"
         },
         "Resharding": {
            "SlotMigration": {
```

```
                "ProgressPercentage": number
            }
        },
        "ServiceUpdates": [
            {
                "ServiceUpdateName": "string",
                "Status": "string"
            }
        ]
    },
    "SecurityGroups": [
        {
            "SecurityGroupId": "string",
            "Status": "string"
        }
    ],
    "Shards": [
        {
            "Name": "string",
            "Nodes": [
                {
                    "AvailabilityZone": "string",
                    "CreateTime": number,
                    "Endpoint": {
                        "Address": "string",
                        "Port": number
                    },
                    "Name": "string",
                    "Status": "string"
                }
            ],
            "NumberOfNodes": number,
            "Slots": "string",
            "Status": "string"
        }
    ],
    "SnapshotRetentionLimit": number,
    "SnapshotWindow": "string",
    "SnsTopicArn": "string",
    "SnsTopicStatus": "string",
    "Status": "string",
    "SubnetGroupName": "string",
    "TLSEnabled": boolean
}
```

```
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Cluster

削除されたクラスターオブジェクト。

型: Cluster オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SnapshotAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DeleteMultiRegionCluster

既存のマルチリージョンクラスターを削除します。

リクエストの構文

```
{
   "MultiRegionClusterName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

MultiRegionClusterName

削除するマルチリージョンクラスターの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "MultiRegionCluster": {
      "ARN": "string",
      "Clusters": [
         {
            "ARN": "string",
            "ClusterName": "string",
            "Region": "string",
            "Status": "string"
         }
      ],
      "Description": "string",
      "Engine": "string",
```

```
        "EngineVersion": "string",
        "MultiRegionClusterName": "string",
        "MultiRegionParameterGroupName": "string",
        "NodeType": "string",
        "NumberOfShards": number,
        "Status": "string",
        "TLSEnabled": boolean
    }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

MultiRegionCluster

削除されたマルチリージョンクラスターに関する詳細。

型: MultiRegionCluster オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「共通エラー」を参照してください。

InvalidMultiRegionClusterStateFault

リクエストされたオペレーションは、現在の状態のマルチリージョンクラスターでは実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionClusterNotFoundFault

指定されたマルチリージョンクラスターは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DeleteParameterGroup

指定したパラメータグループを削除します。パラメータグループがクラスターに関連付けられている場合は、パラメータグループを削除できません。アカウント内のデフォルトのパラメータグループを削除することはできません。

リクエストの構文

```
{
   "ParameterGroupName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ParameterGroupName

削除するパラメータグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "ParameterGroup": {
      "ARN": "string",
      "Description": "string",
      "Family": "string",
      "Name": "string"
   }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ParameterGroup

削除されたパラメータグループ。

型: ParameterGroup オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterGroupStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DeleteSnapshot

既存のスナップショットを削除します。この操作から正常に応答すると、MemoryDB はただちにスナップショットの削除を開始します。この操作をキャンセルしたり、元に戻したりすることはできません。

リクエストの構文

```
{
   "SnapshotName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

SnapshotName

削除するスナップショットの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "Snapshot": {
      "ARN": "string",
      "ClusterConfiguration": {
         "Description": "string",
         "Engine": "string",
         "EngineVersion": "string",
         "MaintenanceWindow": "string",
         "MultiRegionClusterName": "string",
         "MultiRegionParameterGroupName": "string",
         "Name": "string",
         "NodeType": "string",
```

```
            "NumShards": number,
            "ParameterGroupName": "string",
            "Port": number,
            "Shards": [
               {
                  "Configuration": {
                     "ReplicaCount": number,
                     "Slots": "string"
                  },
                  "Name": "string",
                  "Size": "string",
                  "SnapshotCreationTime": number
               }
            ],
            "SnapshotRetentionLimit": number,
            "SnapshotWindow": "string",
            "SubnetGroupName": "string",
            "TopicArn": "string",
            "VpcId": "string"
         },
         "DataTiering": "string",
         "KmsKeyId": "string",
         "Name": "string",
         "Source": "string",
         "Status": "string"
      }
   }
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Snapshot

削除されたスナップショットオブジェクト。

型: Snapshot オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidSnapshotStateFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SnapshotNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DeleteSubnetGroup

サブネットグループを削除します。デフォルトのサブネットグループやクラスターに関連付けられているサブネットグループは削除できません。

リクエストの構文

```
{
   "SubnetGroupName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

SubnetGroupName

削除する サブネットグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "SubnetGroup": {
      "ARN": "string",
      "Description": "string",
      "Name": "string",
      "Subnets": [
         {
            "AvailabilityZone": {
               "Name": "string"
            },
            "Identifier": "string",
            "SupportedNetworkTypes": [ "string" ]
```

```
            }
        ],
        "SupportedNetworkTypes": [ "string" ],
        "VpcId": "string"
    }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

SubnetGroup

削除されたサブネットグループオブジェクト。

型: SubnetGroup オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetGroupInUseFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DeleteUser

ユーザーを削除します。ユーザーはすべての ACL から削除され、次にすべてのクラスターから削除されます。

リクエストの構文

```
{
   "UserName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

UserName

削除するユーザーの名前

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "User": {
      "AccessString": "string",
      "ACLNames": [ "string" ],
      "ARN": "string",
      "Authentication": {
         "PasswordCount": number,
         "Type": "string"
```

```
        },
        "MinimumEngineVersion": "string",
        "Name": "string",
        "Status": "string"
    }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

User

削除されたユーザーオブジェクト。

型: User オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidUserStateFault

HTTP ステータスコード: 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeACLs

ACLs のリストを返します。

リクエストの構文

```
{
   "ACLName": "string",
   "MaxResults": number,
   "NextToken": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ACLName

ACL の名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults の値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれるため、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "ACLs": [
      {
         "ARN": "string",
         "Clusters": [ "string" ],
         "MinimumEngineVersion": "string",
         "Name": "string",
         "PendingChanges": {
            "UserNamesToAdd": [ "string" ],
            "UserNamesToRemove": [ "string" ]
         },
         "Status": "string",
         "UserNames": [ "string" ]
      }
   ],
   "NextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ACLs

ACLs のリスト。

型: ACL オブジェクトの配列

NextToken

nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeClusters

クラスター識別子が指定されていない場合はすべてのプロビジョニングされたクラスターに関する情報を返し、クラスター識別子が指定されている場合は特定のクラスターについての情報を返します。

リクエストの構文

```
{
   "ClusterName": "string",
   "MaxResults": number,
   "NextToken": "string",
   "ShowShardDetails": boolean
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ClusterName

クラスターの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults の値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれるため、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンで

す。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ShowShardDetails

個々のシャードに関する情報を取得するためのリクエストに含めることができるオプションのフラグ。

型: ブール値

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "Clusters": [
      {
         "ACLName": "string",
         "ARN": "string",
         "AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
         "AvailabilityMode": "string",
         "ClusterEndpoint": {
            "Address": "string",
            "Port": number
         },
         "DataTiering": "string",
         "Description": "string",
         "Engine": "string",
         "EnginePatchVersion": "string",
         "EngineVersion": "string",
         "IpDiscovery": "string",
         "KmsKeyId": "string",
         "MaintenanceWindow": "string",
         "MultiRegionClusterName": "string",
         "Name": "string",
         "NetworkType": "string",
         "NodeType": "string",
         "NumberOfShards": number,
         "ParameterGroupName": "string",
```

```
        "ParameterGroupStatus": "string",
        "PendingUpdates": {
           "ACLs": {
              "ACLToApply": "string"
           },
           "Resharding": {
              "SlotMigration": {
                 "ProgressPercentage": number
              }
           },
           "ServiceUpdates": [
              {
                 "ServiceUpdateName": "string",
                 "Status": "string"
              }
           ]
        },
        "SecurityGroups": [
           {
              "SecurityGroupId": "string",
              "Status": "string"
           }
        ],
        "Shards": [
           {
              "Name": "string",
              "Nodes": [
                 {
                    "AvailabilityZone": "string",
                    "CreateTime": number,
                    "Endpoint": {
                       "Address": "string",
                       "Port": number
                    },
                    "Name": "string",
                    "Status": "string"
                 }
              ],
              "NumberOfNodes": number,
              "Slots": "string",
              "Status": "string"
           }
        ],
        "SnapshotRetentionLimit": number,
```

```
            "SnapshotWindow": "string",
            "SnsTopicArn": "string",
            "SnsTopicStatus": "string",
            "Status": "string",
            "SubnetGroupName": "string",
            "TLSEnabled": boolean
        }
    ],
    "NextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Clusters

クラスターのリスト

型: Cluster オブジェクトの配列

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeEngineVersions

使用可能な Redis OSS エンジンバージョンのリストを返します。

リクエストの構文

```
{
   "DefaultOnly": boolean,
   "Engine": "string",
   "EngineVersion": "string",
   "MaxResults": number,
   "NextToken": "string",
   "ParameterGroupFamily": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

DefaultOnly

true の場合、指定されたエンジンまたはエンジンとメジャーバージョンの組み合わせのデフォルトバージョンのみを返すよう指定します。

型: ブール値

必須: いいえ

Engine

使用可能なバージョンを一覧表示するエンジンの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

Redis OSS エンジンバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults の値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれるため、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterGroupFamily

詳細を返す特定のパラメータグループファミリー名。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "EngineVersions": [
      {
         "Engine": "string",
         "EnginePatchVersion": "string",
         "EngineVersion": "string",
         "ParameterGroupFamily": "string"
      }
   ],
```

```
    "NextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

EngineVersions

エンジンバージョンの詳細のリスト。リストの各要素には、1 つのエンジンバージョンに関する詳細情報が含まれています。

型: EngineVersionInfo オブジェクトの配列

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeEvents

クラスター、セキュリティグループ、パラメータグループに関連するイベントを返します。特定のクラスター、セキュリティグループ、またはパラメータグループに固有のイベントは、名前をパラメータとして指定して取得します。デフォルトでは、過去 1 時間以内に発生したイベントのみが返されます。ただし、必要に応じて最大 14 日分のイベントを取得できます。

リクエストの構文

```
{
   "Duration": number,
   "EndTime": number,
   "MaxResults": number,
   "NextToken": "string",
   "SourceName": "string",
   "SourceType": "string",
   "StartTime": number
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

Duration

取得するイベントの分数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

EndTime

ISO 8601 形式で指定された、イベントを取得する時間間隔の終了時刻。例: 2017 年 3 月 30 日 T07:03:49.555Z

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults の値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれるため、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SourceName

イベントが返されるイベントソースの識別子。指定しない場合は、すべてのソースはレスポンスに含まれます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SourceType

イベントソースのイベントを取得します。値を指定しない場合、すべてのイベントが返されます。

型: 文字列

有効な値：`node | parameter-group | subnet-group | cluster | user | acl`

必須：いいえ

StartTime

ISO 8601 形式で指定された、イベントを取得する時間間隔の開始時刻。例: 2017 年 3 月 30 日 T07:03:49.555Z

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "Events": [
      {
         "Date": number,
         "Message": "string",
         "SourceName": "string",
         "SourceType": "string"
      }
   ],
   "NextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Events

イベントのリスト。リストの各要素には、1 つのイベントに関する詳細情報が含まれています。

型: Event オブジェクトの配列

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeMultiRegionClusters

1 つ以上のマルチリージョンクラスターに関する詳細を返します。

リクエストの構文

```
{
   "MaxResults": number,
   "MultiRegionClusterName": "string",
   "NextToken": "string",
   "ShowClusterDetails": boolean
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

MaxResults

返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

MultiRegionClusterName

記述する特定のマルチリージョンクラスターの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NextToken

ページ分割を始める場所を指定するトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ShowClusterDetails

マルチリージョンクラスターに関する詳細。

型: ブール値

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "MultiRegionClusters": [
      {
         "ARN": "string",
         "Clusters": [
            {
               "ARN": "string",
               "ClusterName": "string",
               "Region": "string",
               "Status": "string"
            }
         ],
         "Description": "string",
         "Engine": "string",
         "EngineVersion": "string",
         "MultiRegionClusterName": "string",
         "MultiRegionParameterGroupName": "string",
         "NodeType": "string",
         "NumberOfShards": number,
         "Status": "string",
         "TLSEnabled": boolean
      }
   ],
   "NextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

MultiRegionClusters

マルチリージョンクラスターのリスト。

型: MultiRegionCluster オブジェクトの配列

NextToken

結果の次のページを取得するために使用するトークン。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionClusterNotFoundFault

指定されたマルチリージョンクラスターは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeParameterGroups

パラメータグループの説明のリストを返します。パラメータグループ名を指定した場合、リストにはそのグループの説明のみが含まれます。

リクエストの構文

```
{
   "MaxResults": number,
   "NextToken": "string",
   "ParameterGroupName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults の値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれるため、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterGroupName

詳細を返す特定のパラメータグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "NextToken": "string",
   "ParameterGroups": [
      {
         "ARN": "string",
         "Description": "string",
         "Family": "string",
         "Name": "string"
      }
   ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

ParameterGroups

パラメータグループのリスト。リストの各要素には、1 つのパラメータグループに関する詳細情報が含まれています。

型: ParameterGroup オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeParameters

特定の ラメータグループの詳細なパラメータリストを返します。

リクエストの構文

```
{
   "MaxResults": number,
   "NextToken": "string",
   "ParameterGroupName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults の値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれるため、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterGroupName

詳細を返す特定のパラメータグループ名。

タイプ: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "NextToken": "string",
   "Parameters": [
      {
         "AllowedValues": "string",
         "DataType": "string",
         "Description": "string",
         "MinimumEngineVersion": "string",
         "Name": "string",
         "Value": "string"
      }
   ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

Parameters

特定のパラメータグループに固有のパラメータのリスト。リストの各要素には、1 つのパラメータに関する詳細情報が含まれています。

型: Parameter オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeReservedNodes

このアカウントのリザーブドノード、または指定したリザーブドノードに関する情報を返します。

リクエストの構文

```
{
   "Duration": "string",
   "MaxResults": number,
   "NextToken": "string",
   "NodeType": "string",
   "OfferingType": "string",
   "ReservationId": "string",
   "ReservedNodesOfferingId": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

Duration

年または秒単位で指定した期間フィルター値。この期間の予約のみを表示するには、このパラメータを使用します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxRecords の値よりも多くのレコードが存在する場合、マーカーがレスポンスに含まれるため、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

以前のリクエストから返されたオプションのマーカー。この操作の結果をページ分割するには、このマーカーを使用します。このパラメータを指定した場合、レスポンスには MaxRecords で指定された値まで、マーカーを超えるレコードのみが含まれます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

ノードタイプフィルター値。指定したノードタイプに一致する予約のみが表示するには、このパラメータを使用します。詳細については、「サポートされているノードの種類」を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

OfferingType

提供タイプのフィルター値。指定した提供タイプと一致する使用可能なサービスのみを表示するには、このパラメータを使用してください。有効な値:「全前払い」|「一部前払い」|「前払いなし」

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReservationId

リザーブドノード識別子フィルター値。指定した予約 ID に一致する予約みを表示するには、このパラメータを使用します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReservedNodesOfferingId

提供識別子のフィルター値。指定したオファリング ID と一致する購入済みの予約のみを表示するには、このパラメータを使用します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "NextToken": "string",
   "ReservedNodes": [
      {
         "ARN": "string",
         "Duration": number,
         "FixedPrice": number,
         "NodeCount": number,
         "NodeType": "string",
         "OfferingType": "string",
         "RecurringCharges": [
            {
               "RecurringChargeAmount": number,
               "RecurringChargeFrequency": "string"
            }
         ],
         "ReservationId": "string",
         "ReservedNodesOfferingId": "string",
         "StartTime": number,
         "State": "string"
      }
   ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

NextToken

以前のリクエストから返されたオプションのマーカー。この操作の結果をページ分割するには、このマーカーを使用します。このパラメータを指定した場合、レスポンスには MaxRecords で指定された値まで、マーカーを超えるレコードのみが含まれます。

タイプ: 文字列

ReservedNodes

このアカウントのリザーブドノード、または指定したリザーブドノードに関する情報を返します。

型: ReservedNode オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ReservedNodeNotFoundFault

リクエストされたノードは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2

- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeReservedNodesOfferings

使用可能なリザーブドノードサービスを一覧表示します。

リクエストの構文

```
{
   "Duration": "string",
   "MaxResults": number,
   "NextToken": "string",
   "NodeType": "string",
   "OfferingType": "string",
   "ReservedNodesOfferingId": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

Duration

年または秒単位で指定された期間フィルター値。特定の期間の予約のみを表示するには、このパラメータを使用します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxRecords の値よりも多くのレコードが存在する場合、マーカーがレスポンスに含まれるため、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

以前のリクエストから返されたオプションのマーカー。この操作の結果をページ分割するには、このマーカーを使用します。このパラメータを指定した場合、レスポンスには MaxRecords で指定された値まで、マーカーを超えるレコードのみが含まれます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

リザーブドノードのノードタイプ。詳細については、「サポートされているノードの種類」を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

OfferingType

提供タイプのフィルター値。指定した提供タイプと一致する使用可能なサービスのみを表示するには、このパラメータを使用してください。有効な値:「全前払い」|「一部前払い」|「前払いなし」

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReservedNodesOfferingId

提供識別子のフィルター値。このパラメータを使用すると、指定した予約識別子に一致する利用可能な提供のみが表示されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "NextToken": "string",
   "ReservedNodesOfferings": [
```

```
        {
            "Duration": number,
            "FixedPrice": number,
            "NodeType": "string",
            "OfferingType": "string",
            "RecurringCharges": [
                {
                    "RecurringChargeAmount": number,
                    "RecurringChargeFrequency": "string"
                }
            ],
            "ReservedNodesOfferingId": "string"
        }
    ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

NextToken

以前のリクエストから返されたオプションのマーカー。この操作の結果をページ分割するには、このマーカーを使用します。このパラメータを指定した場合、レスポンスには MaxRecords で指定された値まで、マーカーを超えるレコードのみが含まれます。

タイプ: 文字列

ReservedNodesOfferings

使用可能なリザーブドノードサービスを一覧表示します。

型: ReservedNodesOffering オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ReservedNodesOfferingNotFoundFault

リクエストされたノードサービスは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeServiceUpdates

サービスの更新の詳細を返します。

リクエストの構文

```
{
   "ClusterNames": [ "string" ],
   "MaxResults": number,
   "NextToken": "string",
   "ServiceUpdateName": "string",
   "Status": [ "string" ]
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ClusterNames

適用するサービスの更新を識別するクラスター名のリスト。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最大数は 20 項目です。

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults の値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれるため、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンで

す。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ServiceUpdateName

説明するサービス更新の一意の ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

フィルタリングするサービス更新のステータス (複数可) 。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最大数は 4 項目です。

有効な値：`available | in-progress | complete | scheduled`

必須：いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "NextToken": "string",
   "ServiceUpdates": [
      {
         "AutoUpdateStartDate": number,
         "ClusterName": "string",
         "Description": "string",
         "Engine": "string",
         "NodesUpdated": "string",
         "ReleaseDate": number,
         "ServiceUpdateName": "string",
         "Status": "string",
         "Type": "string"
      }
   ]
```

```
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

ServiceUpdates

サービス更新のリスト

型: ServiceUpdate オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeSnapshots

クラスタースナップショットに関する情報を返します。デフォルトでは、DescribeSnapshots にはすべてのスナップショットが一覧表示されます。オプションで単一のスナップショットのみ表示することも、特定のクラスターに関連するスナップショットのみ表示することもできます。

リクエストの構文

```
{
   "ClusterName": "string",
   "MaxResults": number,
   "NextToken": "string",
   "ShowDetail": boolean,
   "SnapshotName": "string",
   "Source": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ClusterName

ユーザーが指定したクラスター識別子。このパラメータを指定した場合、その特定のクラスターに関連するスナップショットのみ表示されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults の値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれるため、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ShowDetail

ブール値が true の場合、シャード設定はスナップショットの説明に含まれます。

型: ブール値

必須: いいえ

SnapshotName

ユーザーが指定するスナップショットの名前。このパラメータを指定した場合、この名前付きスナップショットのみを表示されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Source

system に設定すると、出力には MemoryDB によって自動的に作成されたスナップショットが表示されます。user に設定すると、出力には手動で作成されたスナップショットが表示されます。省略すると、出力には、自動生成と手動作成、両方のスナップショットが表示されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "NextToken": "string",
   "Snapshots": [
      {
         "ARN": "string",
```

```
        "ClusterConfiguration": {
           "Description": "string",
           "Engine": "string",
           "EngineVersion": "string",
           "MaintenanceWindow": "string",
           "MultiRegionClusterName": "string",
           "MultiRegionParameterGroupName": "string",
           "Name": "string",
           "NodeType": "string",
           "NumShards": number,
           "ParameterGroupName": "string",
           "Port": number,
           "Shards": [
              {
                 "Configuration": {
                    "ReplicaCount": number,
                    "Slots": "string"
                 },
                 "Name": "string",
                 "Size": "string",
                 "SnapshotCreationTime": number
              }
           ],
           "SnapshotRetentionLimit": number,
           "SnapshotWindow": "string",
           "SubnetGroupName": "string",
           "TopicArn": "string",
           "VpcId": "string"
        },
        "DataTiering": "string",
        "KmsKeyId": "string",
        "Name": "string",
        "Source": "string",
        "Status": "string"
     }
  ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

Snapshots

スナップショットのリスト。リストの各項目には、1 つのスナップショットに関する詳細情報が含まれています。

型: Snapshot オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SnapshotNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeSubnetGroups

サブネットグループの説明のリストを返します。サブネットグループ名を指定した場合、リストにはそのグループの説明のみが含まれます。

リクエストの構文

```
{
   "MaxResults": number,
   "NextToken": "string",
   "SubnetGroupName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults の値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれるため、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SubnetGroupName

詳細を返すサブネットグループ名。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "NextToken": "string",
   "SubnetGroups": [
      {
         "ARN": "string",
         "Description": "string",
         "Name": "string",
         "Subnets": [
            {
               "AvailabilityZone": {
                  "Name": "string"
               },
               "Identifier": "string",
               "SupportedNetworkTypes": [ "string" ]
            }
         ],
         "SupportedNetworkTypes": [ "string" ],
         "VpcId": "string"
      }
   ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

SubnetGroups

サブネットグループのリスト。リストの各要素には、1 つのグループに関する詳細情報が含まれています。

型: SubnetGroup オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

DescribeUsers

ユーザーのリストを返します。

リクエストの構文

```
{
   "Filters": [
      {
         "Name": "string",
         "Values": [ "string" ]
      }
   ],
   "MaxResults": number,
   "NextToken": "string",
   "UserName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

Filters

フィルターして、返すユーザーリストを決定します。

タイプ: Filter オブジェクトの配列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults の値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれるため、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

UserName

ユーザーの名前。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "NextToken": "string",
   "Users": [
      {
         "AccessString": "string",
         "ACLNames": [ "string" ],
         "ARN": "string",
         "Authentication": {
            "PasswordCount": number,
            "Type": "string"
         },
         "MinimumEngineVersion": "string",
         "Name": "string",
         "Status": "string"
      }
   ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

NextToken

レコード総数が MaxResults の値を超えた場合に渡すオプションの引数。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

Users

ユーザーのリスト。

型: User オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

FailoverShard

シャードのフェイルオーバーに使用されます。この API は、MemoryDB でフェイルオーバーが発生した場合のアプリケーションの動作をテストするために設計されています。クラスターで発生する可能性のある問題を解決するためにフェイルオーバーを開始するための本番稼働レベルツールとして使用するようには設計されていません。さらに、大規模な運用イベントなどの特定の条件下では、Amazon がこの API をブロックする可能性があります。

リクエストの構文

```
{
   "ClusterName": "string",
   "ShardName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ClusterName

フェイルオーバー中のクラスター。

タイプ: 文字列

必須: はい

ShardName

シャードの名前

タイプ: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "Cluster": {
```

```
        "ACLName": "string",
        "ARN": "string",
        "AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
        "AvailabilityMode": "string",
        "ClusterEndpoint": {
           "Address": "string",
           "Port": number
        },
        "DataTiering": "string",
        "Description": "string",
        "Engine": "string",
        "EnginePatchVersion": "string",
        "EngineVersion": "string",
        "IpDiscovery": "string",
        "KmsKeyId": "string",
        "MaintenanceWindow": "string",
        "MultiRegionClusterName": "string",
        "Name": "string",
        "NetworkType": "string",
        "NodeType": "string",
        "NumberOfShards": number,
        "ParameterGroupName": "string",
        "ParameterGroupStatus": "string",
        "PendingUpdates": {
           "ACLs": {
              "ACLToApply": "string"
           },
           "Resharding": {
              "SlotMigration": {
                 "ProgressPercentage": number
              }
           },
           "ServiceUpdates": [
              {
                 "ServiceUpdateName": "string",
                 "Status": "string"
              }
           ]
        },
        "SecurityGroups": [
           {
              "SecurityGroupId": "string",
              "Status": "string"
           }
```

```
        ],
        "Shards": [
           {
              "Name": "string",
              "Nodes": [
                 {
                    "AvailabilityZone": "string",
                    "CreateTime": number,
                    "Endpoint": {
                       "Address": "string",
                       "Port": number
                    },
                    "Name": "string",
                    "Status": "string"
                 }
              ],
              "NumberOfNodes": number,
              "Slots": "string",
              "Status": "string"
           }
        ],
        "SnapshotRetentionLimit": number,
        "SnapshotWindow": "string",
        "SnsTopicArn": "string",
        "SnsTopicStatus": "string",
        "Status": "string",
        "SubnetGroupName": "string",
        "TLSEnabled": boolean
    }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Cluster

フェイルオーバー中のクラスター。

型: Cluster オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

APICallRateForCustomerExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidKMSKeyFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ShardNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

TestFailoverNotAvailableFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

ListAllowedMultiRegionClusterUpdates

マルチリージョンクラスターで許可される更新を一覧表示します。

リクエストの構文

```
{
   "MultiRegionClusterName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

MultiRegionClusterName

マルチリージョンクラスターの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "ScaleDownNodeTypes": [ "string" ],
   "ScaleUpNodeTypes": [ "string" ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ScaleDownNodeTypes

クラスターをスケールダウンできるノードタイプ。

型: 文字列の配列

ScaleUpNodeTypes

クラスターをスケールアップできるノードタイプ。

型: 文字列の配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionClusterNotFoundFault

指定されたマルチリージョンクラスターは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3

- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

ListAllowedNodeTypeUpdates

クラスターの現在のノードタイプからスケールできるすべてのノードタイプを一覧表示します。UpdateCluster オペレーションを使用してクラスターをスケールする場合、NodeType パラメータの値は、このオペレーションによって返されるノードタイプの いずれかである必要があります。

リクエストの構文

```
{
   "ClusterName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ClusterName

スケールするクラスターの名前。MemoryDB はクラスター名を使用してこのクラスターで使用されている現在のノードタイプを識別し、その名前からスケールアップできるノードタイプのリストを作成します。

タイプ: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "ScaleDownNodeTypes": [ "string" ],
   "ScaleUpNodeTypes": [ "string" ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ScaleDownNodeTypes

クラスターのスケールダウンに使用できるノードタイプの一覧です。

型: 文字列の配列

ScaleUpNodeTypes

クラスターのスケールアップに使用できるノードタイプの一覧です。

型: 文字列の配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス

- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

ListTags

名前付きリソースに現在あるすべてのタグを一覧表示します。タグは、大文字と小文字を区別するキーと値のペアです。タグを使用して MemoryDB リソースを分類および追跡することもできます。詳細については、MemoryDB リソースのタグ付け」を参照してください。

マルチリージョンクラスターからタグを追加または削除すると、マルチリージョンクラスターに対して特に結果整合性があるため、ListTags API レスポンスに最新の有効なタグがすぐに表示されない場合があります。詳細については、MemoryDB リソースのタグ付け」を参照してください。

リクエストの構文

```
{
   "ResourceArn": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ResourceArn

タグのリストを取得するリソースの Amazon リソースネーム (ARN)。

タイプ: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "TagList": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
```

```
    ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

TagList

キーと値のペアとしてのタグのリスト。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidARNFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionClusterNotFoundFault

指定されたマルチリージョンクラスターは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionParameterGroupNotFoundFault

指定されたマルチリージョンパラメータグループは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SnapshotNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin

- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

PurchaseReservedNodesOffering

リザーブドノードサービスの購入を許可します。リザーブドノードはキャンセルの対象外であり、払い戻しもできません。

リクエストの構文

```
{
   "NodeCount": number,
   "ReservationId": "string",
   "ReservedNodesOfferingId": "string",
   "Tags": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
   ]
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

NodeCount

予約するノードインスタンスの数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

ReservationId

この予約を追跡するユーザー指定の一意識別子。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReservedNodesOfferingId

購入するリザーブドノードサービスの ID。

タイプ: 文字列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "ReservedNode": {
      "ARN": "string",
      "Duration": number,
      "FixedPrice": number,
      "NodeCount": number,
      "NodeType": "string",
      "OfferingType": "string",
      "RecurringCharges": [
         {
            "RecurringChargeAmount": number,
            "RecurringChargeFrequency": "string"
         }
      ],
      "ReservationId": "string",
      "ReservedNodesOfferingId": "string",
      "StartTime": number,
      "State": "string"
   }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ReservedNode

`PurchaseReservedNodesOffering` オペレーションの出力を表します。

型: ReservedNode オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ReservedNodeAlreadyExistsFault

指定された識別子を持つ予約をすでに持っています。

HTTP ステータスコード: 400

ReservedNodeQuotaExceededFault

リクエストは、ユーザーのノードクォータを超えるため処理できません。

HTTP ステータスコード: 400

ReservedNodesOfferingNotFoundFault

リクエストされたノードサービスは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

ResetParameterGroup

パラメータグループのパラメータをエンジン/システムのデフォルト値に変更します。パラメータ名のリストを送信することで、特定のパラメータをリセットできます。パラメータグループ全体をリセットするには、AllParameters と ParameterGroupName パラメータを指定します。

リクエストの構文

```
{
   "AllParameters": boolean,
   "ParameterGroupName": "string",
   "ParameterNames": [ "string" ]
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

AllParameters

true の場合、パラメータグループのすべてのパラメータがデフォルト値にリセットされます。false の場合、ParameterNames で一覧表示されているパラメータのみがデフォルト値にリセットされます。

型: ブール値

必須: いいえ

ParameterGroupName

リセットするパラメータグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

ParameterNames

デフォルト値にリセットするパラメータ名の配列。AllParameters が true の場合は、ParameterNames を使用しないでください。AllParameters が false の場合は、リセットするパラメータ名を少なくとも 1 つ指定する必要があります。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "ParameterGroup": {
      "ARN": "string",
      "Description": "string",
      "Family": "string",
      "Name": "string"
   }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ParameterGroup

リセット中のパラメータグループ。

型: ParameterGroup オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterGroupStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

TagResource

このオペレーションを使用して、リソースにタグを追加します。タグは、大文字と小文字を区別するキーと値のペアです。タグを使用してすべての MemoryDB リソースを分類および追跡できます。詳細については、MemoryDB リソースのタグ付け」を参照してください。

マルチリージョンクラスターにタグを追加すると、特にマルチリージョンクラスターに対して結果整合性があるため、ListTags API レスポンスに最新の有効なタグがすぐに表示されない場合があります。詳細については、MemoryDB リソースのタグ付け」を参照してください。

MemoryDB リソースのコスト配分タグを指定できます。Amazon はコスト配分レポートをカンマ区切り値 (CSV) ファイルとして生成し、タグによって使用量とコストを集計します。自社のカテゴリたとえばコストセンター、アプリケーション名、所有者を表すタグを適用すると、複数のサービスにわたってコストを分類することができます。詳細については、「コスト配分タグの使用」を参照してください。

リクエストの構文

```
{
   "ResourceArn": "string",
   "Tags": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
   ]
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ResourceArn

タグを追加するリソースの Amazon リソースネーム (ARN)。

タイプ: 文字列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "TagList": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
   ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

TagList

キーと値のペアとしてのタグのリスト。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidARNFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionClusterNotFoundFault

指定されたマルチリージョンクラスターは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionParameterGroupNotFoundFault

指定されたマルチリージョンパラメータグループは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SnapshotNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード: 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

UntagResource

このオペレーションを使用して、リソースのタグを削除します。タグは、大文字と小文字を区別するキーと値のペアです。タグを使用してすべての MemoryDB リソースを分類および追跡できます。詳細については、MemoryDB リソースのタグ付け」を参照してください。

マルチリージョンクラスターからタグを削除すると、マルチリージョンクラスターに対して特に結果整合性があるため、ListTags API レスポンスに最新の有効なタグがすぐに表示されない場合があります。詳細については、MemoryDB リソースのタグ付け」を参照してください。

MemoryDB リソースのコスト配分タグを指定できます。Amazon はコスト配分レポートをカンマ区切り値 (CSV) ファイルとして生成し、タグによって使用量とコストを集計します。自社のカテゴリたとえばコストセンター、アプリケーション名、所有者を表すタグを適用すると、複数のサービスにわたってコストを分類することができます。詳細については、「コスト配分タグの使用」を参照してください。

リクエストの構文

```
{
   "ResourceArn": "string",
   "TagKeys": [ "string" ]
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ResourceArn

タグを削除するリソースの Amazon リソースネーム (ARN)。

タイプ: 文字列

必須: はい

TagKeys

削除されるタグのキーのリスト。

型: 文字列の配列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "TagList": [
      {
         "Key": "string",
         "Value": "string"
      }
   ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

TagList

削除されたタグのリスト。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidARNFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionClusterNotFoundFault

指定されたマルチリージョンクラスターは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionParameterGroupNotFoundFault

指定されたマルチリージョンパラメータグループは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SnapshotNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

TagNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

UpdateACL

アクセスコントロールリストに属するユーザーのリストを変更します。

リクエストの構文

```
{
   "ACLName": "string",
   "UserNamesToAdd": [ "string" ],
   "UserNamesToRemove": [ "string" ]
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ACLName

アクセスコントロールリストの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

UserNamesToAdd

アクセスコントロールリストに追加するユーザーのリスト。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。

長さの制限：最小長 1、

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: いいえ

UserNamesToRemove

アクセスコントロールリストから削除するユーザーのリスト。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。

長さの制限：最小長 1、

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "ACL": {
      "ARN": "string",
      "Clusters": [ "string" ],
      "MinimumEngineVersion": "string",
      "Name": "string",
      "PendingChanges": {
         "UserNamesToAdd": [ "string" ],
         "UserNamesToRemove": [ "string" ]
      },
      "Status": "string",
      "UserNames": [ "string" ]
   }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ACL

更新されたアクセスコントロールリスト。

型: ACL オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

DefaultUserRequired

HTTP ステータスコード: 400

DuplicateUserNameFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidACLStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2

- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

UpdateCluster

クラスターの設定を変更します。この操作では、設定と新しい値を指定することで、1 つ以上のクラスター設定の設定内容を変更できます。

リクエストの構文

```
{
   "ACLName": "string",
   "ClusterName": "string",
   "Description": "string",
   "Engine": "string",
   "EngineVersion": "string",
   "IpDiscovery": "string",
   "MaintenanceWindow": "string",
   "NodeType": "string",
   "ParameterGroupName": "string",
   "ReplicaConfiguration": {
      "ReplicaCount": number
   },
   "SecurityGroupIds": [ "string" ],
   "ShardConfiguration": {
      "ShardCount": number
   },
   "SnapshotRetentionLimit": number,
   "SnapshotWindow": "string",
   "SnsTopicArn": "string",
   "SnsTopicStatus": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ACLName

クラスターに関連付けられているアクセスコントロールリスト。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: いいえ

ClusterName

更新するクラスターの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

Description

更新するクラスターの説明。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Engine

クラスターに使用するエンジンの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

ノードで実行されるエンジンのアップグレードバージョン。より新しいエンジンバージョンにアップグレードできますが、以前のエンジンバージョンにダウングレードすることはできません。以前のエンジンバージョンを使用する場合は、既存のクラスターを削除し、新たにそれを以前のエンジンバージョンで作成する必要があります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

IpDiscovery

クラスター検出プロトコルの IP アドレスを検出するメカニズム。有効な値は「ipv4」または「ipv6」です。「ipv4」に設定すると、クラスタースロット、クラスターシャード、クラスターノードなどのクラスター検出関数は、クラスターノードの IPv4 アドレスを返します。「ipv6」に設定すると、クラスター検出関数はクラスターノードの IPv6 アドレスを返します。

値は NetworkType パラメータと互換性がある必要があります。指定しない場合、デフォルトは「ipv4」です。

型: 文字列

有効な値：`ipv4 | ipv6`

必須：いいえ

MaintenanceWindow

クラスターの週次メンテナンスを実行する時間範囲を指定します。範囲は ddd:hh24:mi-ddd:hh24:mi (UTC 24 時間制) の形式で指定します。最短メンテナンス期間は 60 分です。

ddd の有効値は、次のとおりです。

- `sun`
- `mon`
- `tue`
- `wed`
- `thu`
- `fri`
- `sat`

例: `sun:23:00-mon:01:30`

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

このクラスターをスケールアップまたはスケールダウンする有効なノードタイプ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterGroupName

更新するグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReplicaConfiguration

各シャードに存在するレプリカの数。

型: ReplicaConfigurationRequest オブジェクト

必須: いいえ

SecurityGroupIds

更新する SecurityGroupIds。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

ShardConfiguration

クラスター内のシャードの数。

型: ShardConfigurationRequest オブジェクト

必須: いいえ

SnapshotRetentionLimit

MemoryDB によって自動クラスタースナップショットが保持される日数。この日数を超えると、自動スナップショットは削除されます。例えば、SnapshotRetentionLimit を 5 に設定すると、今日取得したスナップショットは 5 日間保持され、その後削除されます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

SnapshotWindow

MemoryDB が、クラスターの毎日のスナップショットの取得を開始する毎日の時間範囲 (UTC)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnsTopicArn

更新する SNS トピック ARN。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnsTopicStatus

Amazon SNS 通知トピックのステータス。通知はステータスがアクティブな場合にのみ送信されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "Cluster": {
      "ACLName": "string",
      "ARN": "string",
      "AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
      "AvailabilityMode": "string",
      "ClusterEndpoint": {
         "Address": "string",
         "Port": number
      },
      "DataTiering": "string",
      "Description": "string",
      "Engine": "string",
      "EnginePatchVersion": "string",
      "EngineVersion": "string",
      "IpDiscovery": "string",
      "KmsKeyId": "string",
      "MaintenanceWindow": "string",
      "MultiRegionClusterName": "string",
      "Name": "string",
      "NetworkType": "string",
      "NodeType": "string",
      "NumberOfShards": number,
      "ParameterGroupName": "string",
      "ParameterGroupStatus": "string",
      "PendingUpdates": {
         "ACLs": {
            "ACLToApply": "string"
         },
         "Resharding": {
            "SlotMigration": {
               "ProgressPercentage": number
```

```
            }
         },
         "ServiceUpdates": [
            {
               "ServiceUpdateName": "string",
               "Status": "string"
            }
         ]
      },
      "SecurityGroups": [
         {
            "SecurityGroupId": "string",
            "Status": "string"
         }
      ],
      "Shards": [
         {
            "Name": "string",
            "Nodes": [
               {
                  "AvailabilityZone": "string",
                  "CreateTime": number,
                  "Endpoint": {
                     "Address": "string",
                     "Port": number
                  },
                  "Name": "string",
                  "Status": "string"
               }
            ],
            "NumberOfNodes": number,
            "Slots": "string",
            "Status": "string"
         }
      ],
      "SnapshotRetentionLimit": number,
      "SnapshotWindow": "string",
      "SnsTopicArn": "string",
      "SnsTopicStatus": "string",
      "Status": "string",
      "SubnetGroupName": "string",
      "TLSEnabled": boolean
   }
```

```
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Cluster

更新されたクラスター。

型: Cluster オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ClusterQuotaForCustomerExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidACLStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidKMSKeyFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidNodeStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidVPCNetworkStateFault

HTTP ステータスコード: 400

NodeQuotaForClusterExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

NodeQuotaForCustomerExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

NoOperationFault

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ShardsPerClusterQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

UpdateMultiRegionCluster

既存のマルチリージョンクラスターの設定を更新します。

リクエストの構文

```
{
   "Description": "string",
   "EngineVersion": "string",
   "MultiRegionClusterName": "string",
   "MultiRegionParameterGroupName": "string",
   "NodeType": "string",
   "ShardConfiguration": {
      "ShardCount": number
   },
   "UpdateStrategy": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

Description

マルチリージョンクラスターの新しい説明。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

マルチリージョンクラスターに使用される新しいエンジンバージョン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MultiRegionClusterName

更新するマルチリージョンクラスターの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

MultiRegionParameterGroupName

クラスターに関連付ける新しいマルチリージョンパラメータグループ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

マルチリージョンクラスターに使用される新しいノードタイプ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ShardConfiguration

クラスターのシャーディングプロパティを設定するリクエスト

型: ShardConfigurationRequest オブジェクト

必須: いいえ

UpdateStrategy

更新オペレーションに使用する戦略。サポートされている値は「調整済み」または「未調整」です。

型: 文字列

有効な値：`coordinated | uncoordinated`

必須：いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "MultiRegionCluster": {
      "ARN": "string",
```

```
        "Clusters": [
           {
              "ARN": "string",
              "ClusterName": "string",
              "Region": "string",
              "Status": "string"
           }
        ],
        "Description": "string",
        "Engine": "string",
        "EngineVersion": "string",
        "MultiRegionClusterName": "string",
        "MultiRegionParameterGroupName": "string",
        "NodeType": "string",
        "NumberOfShards": number,
        "Status": "string",
        "TLSEnabled": boolean
    }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

MultiRegionCluster

マルチリージョンクラスターの更新ステータス。

型: MultiRegionCluster オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「共通エラー」を参照してください。

InvalidMultiRegionClusterStateFault

リクエストされたオペレーションは、現在の状態のマルチリージョンクラスターでは実行できません。

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionClusterNotFoundFault

指定されたマルチリージョンクラスターは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

MultiRegionParameterGroupNotFoundFault

指定されたマルチリージョンパラメータグループは存在しません。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

UpdateParameterGroup

パラメータグループのパラメータを更新します。パラメータ名と値のペアのリストを送信することで、1 回のリクエストで 20 個までパラメータを変更できます。

リクエストの構文

```
{
   "ParameterGroupName": "string",
   "ParameterNameValues": [
      {
         "ParameterName": "string",
         "ParameterValue": "string"
      }
   ]
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

ParameterGroupName

更新するグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

ParameterNameValues

パラメータを更新するためのパラメータ名と値の配列。少なくとも 1 つのパラメータ名および値を指定する必要があります。後続の引数はオプションです。1 リクエストあたり最大 20 個のパラメータを更新できます。

型: ParameterNameValue オブジェクトの配列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "ParameterGroup": {
      "ARN": "string",
      "Description": "string",
      "Family": "string",
      "Name": "string"
   }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ParameterGroup

更新されたパラメータグループ

型: ParameterGroup オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterGroupStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

UpdateSubnetGroup

サブネットグループを更新します。詳細については、「Updating a subnet group」を参照してください。

リクエストの構文

```
{
   "Description": "string",
   "SubnetGroupName": "string",
   "SubnetIds": [ "string" ]
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

Description

サブネットグループの説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SubnetGroupName

サブネットグループの名前

タイプ: 文字列

必須: はい

SubnetIds

サブネットグループの EC2 サブネット ID。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
   "SubnetGroup": {
      "ARN": "string",
      "Description": "string",
      "Name": "string",
      "Subnets": [
         {
            "AvailabilityZone": {
               "Name": "string"
            },
            "Identifier": "string",
            "SupportedNetworkTypes": [ "string" ]
         }
      ],
      "SupportedNetworkTypes": [ "string" ],
      "VpcId": "string"
   }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

SubnetGroup

更新されたサブネットグループ

型: SubnetGroup オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidSubnet

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetInUse

HTTP ステータスコード: 400

SubnetNotAllowedFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

UpdateUser

ユーザーのパスワードまたはアクセス文字列を変更します。

リクエストの構文

```
{
   "AccessString": "string",
   "AuthenticationMode": {
      "Passwords": [ "string" ],
      "Type": "string"
   },
   "UserName": "string"
}
```

リクエストパラメーター

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「共通パラメータ」を参照してください。

リクエストは以下のデータを JSON 形式で受け入れます。

AccessString

このユーザーに使用されるアクセス許可文字列。

タイプ: 文字列

パターン: `.*\S.*`

必須: いいえ

AuthenticationMode

認証にパスワードが必要かどうかなど、ユーザーの認証プロパティを示します。

型: AuthenticationMode オブジェクト

必須: いいえ

UserName

ユーザーの名前

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
   "User": {
      "AccessString": "string",
      "ACLNames": [ "string" ],
      "ARN": "string",
      "Authentication": {
         "PasswordCount": number,
         "Type": "string"
      },
      "MinimumEngineVersion": "string",
      "Name": "string",
      "Status": "string"
   }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

User

更新されたユーザー

型: User オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidUserStateFault

HTTP ステータスコード: 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS コマンドラインインターフェイス
- AWS SDK for .NET
- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Go v2
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for JavaScript V3
- AWS SDK for Kotlin
- AWS SDK for PHP V3
- AWS SDK for Python
- AWS SDK for Ruby V3

データ型

Amazon MemoryDB API には、さまざまなアクションが使用する複数のデータ型が含まれています。このセクションでは、各データ型について詳しく説明します。

> **Note**
>
> データ型構造内の各要素の順序は保証されません。アプリケーションは特定の順序を想定するべきではありません。

以下のデータ型 (タイプ) がサポートされています。

- ACL
- ACLPendingChanges
- ACLsUpdateStatus
- Authentication
- AuthenticationMode
- AvailabilityZone
- Cluster
- ClusterConfiguration
- ClusterPendingUpdates
- Endpoint
- EngineVersionInfo
- Event
- Filter
- MultiRegionCluster
- Node
- Parameter
- ParameterGroup
- ParameterNameValue
- PendingModifiedServiceUpdate
- RecurringCharge

- RegionalCluster
- ReplicaConfigurationRequest
- ReservedNode
- ReservedNodesOffering
- ReshardingStatus
- SecurityGroupMembership
- ServiceUpdate
- ServiceUpdateRequest
- Shard
- ShardConfiguration
- ShardConfigurationRequest
- ShardDetail
- SlotMigration
- Snapshot
- Subnet
- SubnetGroup
- Tag
- UnprocessedCluster
- User

ACL

アクセスコントロールリスト。アクセスコントロールリストを使用してユーザーを認証できます。ACL を使用すると、ユーザーをグループ化してクラスターアクセスを制御できます。これらのアクセスコントロールリストは、クラスターへのアクセスを分類する方法として設計されています。

内容

ARN

ACL の Amazon リソースネーム (ARN)

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Clusters

ACL に関連付けられているクラスターのリスト。

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

MinimumEngineVersion

ACL でサポートされる最小エンジンバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

アクセスコントロールリストの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

PendingChanges

ACL に適用されている更新リスト。

型: ACLPendingChanges オブジェクト

必須: いいえ

Status

ACL のステータスを表示します。「creating (作成中)」、「active (アクティブ)」、「modifying (変更中)」、「deleting (削除中)」になります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

UserNames

ACL に属するユーザー名のリスト。

型: 文字列の配列

長さの制限：最小長 1、

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ACLPendingChanges

ACL に適用されている更新を返します。

内容

UserNamesToAdd

ACL に追加されるユーザーのリスト

型: 文字列の配列

長さの制限：最小長 1、

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: いいえ

UserNamesToRemove

ACL から削除されるユーザー名のリスト

型: 文字列の配列

長さの制限：最小長 1、

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ACLsUpdateStatus

ACL 更新のステータス

内容

ACLToApply

適用が保留になっている ACL のリスト。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

Authentication

認証にパスワードが必要かどうかなど、ユーザーの認証プロパティを示します。出力レスポンスに使用されます。

内容

PasswordCount

ユーザーに属するパスワードの数。最大数は 2 です。

タイプ: 整数

必須: いいえ

Type

ユーザーが認証にパスワードを要求するかどうかを示します。

タイプ: 文字列

有効な値: `password | no-password | iam`

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

AuthenticationMode

認証にパスワードが必要かどうかなど、ユーザーの認証プロパティを示します。出力レスポンスに使用されます。

内容

Passwords

認証に使用されるパスワード

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。

必須: いいえ

Type

ユーザーが認証にパスワードを要求するかどうかを示します。新しく作成したユーザーにはすべてパスワードが必要です。

タイプ: 文字列

有効な値: `password | iam`

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

AvailabilityZone

クラスターにマルチ AZ 設定 (multiaz) があるかないか (singleaz) を示します。

内容

Name

アベイラビリティーゾーンの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

Cluster

特定のクラスターのすべての属性が含まれます。

内容

ACLName

クラスターに関連付けられているアクセスコントロールリストの名前。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: いいえ

ARN

クラスターの Amazon リソースネーム (ARN)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

AutoMinorVersionUpgrade

true に設定すると、クラスターは、起動後にマイナーエンジンバージョンのアップグレードを自動的に受信します。

型: ブール値

必須: いいえ

AvailabilityMode

クラスターにマルチ AZ 設定 (multiaz) があるかないか (singleaz) を示します。

型: 文字列

有効な値：`singleaz | multiaz`

必須：いいえ

ClusterEndpoint

クラスターの設定エンドポイント

型: Endpoint オブジェクト

必須: いいえ

DataTiering

データの階層化を有効にします。データ階層化は、r6gd ノードタイプを使用するクラスターでのみサポートされます。r6gd ノードを使用する場合は、このパラメータを設定する必要があります。詳細については、データ階層化を参照してください。

型: 文字列

有効な値：`true | false`

必須：いいえ

Description

クラスターの説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Engine

クラスターで使用されるエンジンの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EnginePatchVersion

クラスターで使用される Redis OSS エンジンパッチバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

クラスターで使用される Redis OSS エンジンのバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

IpDiscovery

クラスターが IP アドレスを検出するために使用するメカニズム。DNS エンドポイントが IPv4 アドレスに解決された場合は「ipv4」を返し、DNS エンドポイントが IPv6 アドレスに解決された場合は「ipv6」を返します。

型: 文字列

有効な値：`ipv4 | ipv6`

必須：いいえ

KmsKeyId

クラスターの暗号化に使用される KMS キーの ID

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaintenanceWindow

クラスターの週次メンテナンスを実行する時間範囲を指定します。範囲は ddd:hh24:mi-ddd:hh24:mi (UTC 24 時間制) の形式で指定します。最短メンテナンス期間は 60 分です。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MultiRegionClusterName

このクラスターが属するマルチリージョンクラスターの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

ユーザーが指定するクラスター名。この識別子は、クラスターを識別する一意のキーです。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NetworkType

クラスターの IP アドレスタイプ。IPv4 のみの場合はIPv4」、IPv6 のみの場合は「ipv6」、クラスターが IPv4 と IPv6 の両方のアドレス指定をサポートしている場合は「dual-stack」を返します。

型: 文字列

有効な値：`ipv4 | ipv6 | dual_stack`

必須：いいえ

NodeType

クラスターのノードタイプ

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NumberOfShards

クラスター内のシャードの数

タイプ: 整数

必須: いいえ

ParameterGroupName

クラスターによって使用されるパラメータグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterGroupStatus

「アクティブ」または「適用中」などの、クラスターによって使用されるパラメータグループのステータス。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

PendingUpdates

現在適用されている設定のグループ。

型: ClusterPendingUpdates オブジェクト

必須: いいえ

SecurityGroups

クラスターが使用するセキュリティグループのリスト

タイプ: SecurityGroupMembership オブジェクトの配列

必須: いいえ

Shards

クラスターのメンバーであるシャードのリスト。

タイプ: Shard オブジェクトの配列

必須: いいえ

SnapshotRetentionLimit

MemoryDB によって自動スナップショットが保持される日数。この日数を超えると、自動スナップショットは削除されます。例えば、SnapshotRetentionLimit を 5 に設定すると、今日取得したスナップショットは 5 日間保持され、その後削除されます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

SnapshotWindow

MemoryDB が、シャードの毎日のスナップショットの取得を開始する毎日の時間範囲 (UTC)。(例: 5:00 ~ 9:00) このパラメータを指定しない場合、MemoryDB によって適切な時間範囲が自動的に選択されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnsTopicArn

SNS 通知トピックの Amazon リソースネーム (ARN)

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnsTopicStatus

通知を受信するには、SNS トピックのステータスがアクティブになっている必要があります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

クラスターのステータス。利用可能、更新中、作成中などがあります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SubnetGroupName

クラスターによって使用されるサブネットグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

TLSEnabled

転送時の暗号化が有効になっているかどうかを示すフラグ

型: ブール値

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ClusterConfiguration

クラスター設定オプションのリスト。

内容

Description

クラスター設定の説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Engine

クラスター設定で使用されるエンジンの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

クラスターで使用される Redis OSS エンジンのバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaintenanceWindow

クラスターに指定されているメンテナンスウィンドウ

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MultiRegionClusterName

クラスター設定に関連付けられているマルチリージョンクラスターの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MultiRegionParameterGroupName

クラスター設定に関連付けられたマルチリージョンパラメータグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

クラスターの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

クラスターに使用されるノードタイプ

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NumShards

クラスター内のシャードの数

タイプ: 整数

必須: いいえ

ParameterGroupName

クラスターによって使用されるパラメータグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Port

クラスターによって使用されるポート

タイプ: 整数

必須: いいえ

Shards

クラスターのシャードリスト

型: ShardDetail オブジェクトの配列

必須: いいえ

SnapshotRetentionLimit

クラスターによって設定されるスナップショットの保持期限

タイプ: 整数

必須: いいえ

SnapshotWindow

クラスターが設定するスナップショットウィンドウ

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SubnetGroupName

クラスターによって使用されるサブネットグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

TopicArn

クラスター用の SNS 通知トピックの Amazon リソースネーム (ARN)

タイプ: 文字列

必須: いいえ

VpcId

クラスターが属する VPC の ID

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ClusterPendingUpdates

クラスターに適用されている更新のリスト

内容

ACLs

更新中のクラスターに関連付けられている ACL のリスト

型: ACLsUpdateStatus オブジェクト

必須: いいえ

Resharding

オンラインリシャーディングオペレーションのステータス。

型: ReshardingStatus オブジェクト

必須: いいえ

ServiceUpdates

クラスターに適用されているサービス更新のリスト

型: PendingModifiedServiceUpdate オブジェクトの配列

必須：いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

Endpoint

クライアントプログラムがクラスターとそのノードに接続するために必要な情報を表します。

内容

Address

ノードの DNS ホスト名。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Port

エンジンがリッスンしているポート番号。

タイプ: 整数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

EngineVersionInfo

Redis OSS エンジンバージョンの詳細を提供します。

内容

Engine

バージョン情報が提供されているエンジンの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EnginePatchVersion

パッチが適用されたエンジンバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

エンジンバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterGroupFamily

エンジンのデフォルトパラメータが適用されるパラメータグループファミリーの名前を指定します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

Event

システム内で何か興味深いことが 1 回のみ発生したことを表します。イベントの例として、クラスターの作成、ノードの追加や削除などがあります。

内容

Date

イベントが発生した日時。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

Message

イベントのテキスト。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SourceName

イベントのソース名。例えば、イベントがクラスターレベルで発生した場合、識別子はクラスター名になります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SourceType

このイベントの発生元 (クラスター、パラメータグループ、セキュリティグループなど) を指定します。

タイプ: 文字列

有効な値: `node | parameter-group | subnet-group | cluster | user | acl`

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

Filter

フィルタリングされているプロパティに基づいて検索結果を効率化するために使用されます。

内容

Name

フィルタリングされるプロパティ。例えば、UserName などです。

タイプ: 文字列

Pattern: `.*\S.*`

必須: はい

Values

フィルタリングするプロパティ値。例えば、「ユーザー123」などです。

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。

Pattern: `.*\S.*`

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

MultiRegionCluster

マルチリージョンクラスターを表します。

内容

ARN

マルチリージョンクラスターの Amazon リソースネーム (ARN)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Clusters

このマルチリージョンクラスターのクラスター。

型: RegionalCluster オブジェクトの配列

必須: いいえ

Description

マルチリージョンクラスターの説明。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Engine

マルチリージョンクラスターで使用されるエンジンの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

マルチリージョンクラスターで使用されるエンジンのバージョン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MultiRegionClusterName

マルチリージョンクラスターの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MultiRegionParameterGroupName

クラスターに関連付けられているマルチリージョンパラメータグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

マルチリージョンクラスターで使用されるノードタイプ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NumberOfShards

マルチリージョンクラスター内のシャードの数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

Status

マルチリージョンクラスターの現在のステータス。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

TLSEnabled

マルチリージョンクラスターで TLS が有効になっているかどうかを示します。

型: ブール値

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

Node

クラスター内の個々のノードを表します。各ノードはそれぞれ、自身のクラスターのプロトコルに準拠したキャッシングソフトウェアのインスタンスを実行します。

内容

AvailabilityZone

ノードが存在するアベイラビリティーゾーン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

CreateTime

ノードが作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

Endpoint

このノードに接続するためのホスト名。

型: Endpoint オブジェクト

必須: いいえ

Name

ノード識別子。ノード名は数値識別子 (0001、0002 など) です。クラスター名、シャード名、ノード名の組み合わせにより、お客様の Amazon アカウントで使用されるすべてのノードが一意に識別されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

ノード上のサービス更新のステータス

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

Parameter

MemoryDB の動作のいくつかの側面を制御する個別の設定について説明します。

内容

AllowedValues

パラメータの有効な値の範囲。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

DataType

Parameter のデータ型

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Description

パラメータの説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MinimumEngineVersion

パラメータを適用できる最も古いエンジンバージョン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

パラメータの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Value

パラメータの値

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ParameterGroup

CreateParameterGroup オペレーションの出力を表します。パラメータグループは、起動時にエンジンソフトウェアに渡されるパラメータの特定の値の組み合わせを表しています。

内容

ARN

親グループの Amazon リソースネーム (ARN)

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Description

パラメータグループの説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Family

このパラメータグループと互換性があるパラメータグループファミリーの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

パラメータグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ParameterNameValue

パラメータの値を更新するために使用される名前と値のペアについて説明します。

内容

ParameterName

パラメータの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterValue

パラメータの値

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

PendingModifiedServiceUpdate

対応する適用/停止リクエストに対してまだ処理されていない更新アクション

内容

ServiceUpdateName

サービス更新の一意の ID

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

サービス更新のステータス

タイプ: 文字列

有効な値: `available | in-progress | complete | scheduled`

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

RecurringCharge

このリザーブドノードを実行するための定期的課金。

内容

RecurringChargeAmount

このリザーブドノードを実行するための定期的課金額。

型: 倍精度浮動小数点数

必須: いいえ

RecurringChargeFrequency

このリザーブドノードを実行するために課金される定額料金の頻度。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

RegionalCluster

リージョンクラスターを表します

内容

ARN

リージョンクラスターの Amazon リソースネーム (ARN)

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ClusterName

リージョンクラスターの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Region

現在のリージョンクラスターが割り当てられているリージョン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

リージョンクラスターのステータス。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++

- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ReplicaConfigurationRequest

シャードのレプリカの数を設定するリクエスト

内容

ReplicaCount

スケールアップまたはスケールダウンするレプリカの数

タイプ: 整数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ReservedNode

`PurchaseReservedNodesOffering` オペレーションの出力を表します。

内容

ARN

リザーブドノードの Amazon リソースネーム (ARN)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Duration

予約の継続時間 (秒単位)。

タイプ: 整数

必須: いいえ

FixedPrice

このリザーブドノードに課金される固定料金。

型: 倍精度浮動小数点数

必須: いいえ

NodeCount

リザーブされているノードの数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NodeType

リザーブドノードのノードタイプ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

OfferingType

このリザーブドノードの提供タイプ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

RecurringCharges

このリザーブドノードを実行するために課金される定額料金。

型: RecurringCharge オブジェクトの配列

必須: いいえ

ReservationId

この予約を追跡するユーザー指定の一意識別子。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReservedNodesOfferingId

購入するリザーブドノードサービスの ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

StartTime

予約が開始された時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

State

リザーブドノードの状態。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ReservedNodesOffering

このノードの提供タイプ。

内容

Duration

予約の継続時間 (秒単位)。

タイプ: 整数

必須: いいえ

FixedPrice

このリザーブドノードに課金される固定料金。

型: 倍精度浮動小数点数

必須: いいえ

NodeType

リザーブドノードのノードタイプ。詳細については、「サポートされているノードの種類」を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

OfferingType

このリザーブドノードの提供タイプ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

RecurringCharges

このリザーブドノードを実行するために課金される定額料金。

型: RecurringCharge オブジェクトの配列

必須: いいえ

ReservedNodesOfferingId

提供識別子。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ReshardingStatus

オンラインリシャーディングのステータス

内容

SlotMigration

オンラインリシャーディングスロット移行のステータス

型: SlotMigration オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

SecurityGroupMembership

単一のセキュリティグループとそのステータスを表します。

内容

SecurityGroupId

セキュリティグループの識別子。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

セキュリティグループメンバーシップのステータス。セキュリティグループが変更されたり、クラスターに割り当てられたセキュリティグループが変更されたりすると、ステータスが変わります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ServiceUpdate

MemoryDB クラスターに適用できる更新です。

内容

AutoUpdateStartDate

サービス更新が自動的に適用される日付

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

ClusterName

サービス更新が適用されるクラスター名

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Description

サービス更新の詳細を提供する

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Engine

サービス更新が利用可能なエンジンの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodesUpdated

サービス更新によって更新されるノードのリスト

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReleaseDate

サービス更新が最初に利用可能になった日付

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

ServiceUpdateName

サービス更新の一意の ID

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

サービス更新のステータス

タイプ: 文字列

有効な値: `available | in-progress | complete | scheduled`

必須: いいえ

Type

サービス更新の性質を反映します

タイプ: 文字列

有効な値: `security-update`

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ServiceUpdateRequest

サービス更新を適用するためのリクエスト

内容

ServiceUpdateNameToApply

サービス更新の一意の ID

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

Shard

クラスター内のノードのコレクションを表します。ノードグループのノードの 1 つは読み書き可能プライマリノードです。他のすべてのノードは読み取り専用レプリカノードです。

内容

Name

シャードの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Nodes

シャード内の個々のノードに関する情報を含むリスト

型: Node オブジェクトの配列

必須: いいえ

NumberOfNodes

シャード内のノード数

タイプ: 整数

必須: いいえ

Slots

このシャードのキースペース。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

このレプリケーショングループの現在のステータス (作成、使用可能、変更、削除)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ShardConfiguration

シャード設定オプション。各シャード設定には、「Slots」と「ReplicaCount」があります。

内容

ReplicaCount

このシャードのリードレプリカノードの数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

Slots

特定のノードグループのキースペースを指定する文字列。キースペースの範囲は 0 ~ 16,383 です。この文字列は startkey-endkey の形式になります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ShardConfigurationRequest

クラスターのシャーディングプロパティを設定するリクエスト

内容

ShardCount

クラスター内のシャードの数

タイプ: 整数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

ShardDetail

スナップショット内のシャードの詳細を提供します

内容

Configuration

シャードの設定の詳細

型: ShardConfiguration オブジェクト

必須: いいえ

Name

シャードの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Size

シャードのスナップショットのサイズ

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnapshotCreationTime

シャードのスナップショットが作成された日時

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++

- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

SlotMigration

オンラインリシャーディングオペレーションの進行状況を表します。

内容

ProgressPercentage

スロットの移行が完了した割合。

型: 倍精度浮動小数点数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

Snapshot

スナップショットが作成された時点のクラスター全体のコピーを表します。

内容

ARN

スナップショットの ARN (Amazon リソースネーム)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ClusterConfiguration

スナップショットが作成されたクラスターの設定

型: ClusterConfiguration オブジェクト

必須: いいえ

DataTiering

データの階層化を有効にします。データ階層化は、r6gd ノードタイプを使用するクラスターでのみサポートされます。r6gd ノードを使用する場合は、このパラメータを設定する必要があります。詳細については、データ階層化を参照してください。

タイプ: 文字列

有効な値: `true | false`

必須: いいえ

KmsKeyId

スナップショットの暗号化に使用される KMS キーの ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

スナップショットの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Source

スナップショットが自動バックアップ (自動) からのものか、手動で作成されたもの (手動) かを示します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

スナップショットのステータス。有効な値: 作成 | 使用可能 | 復元 | コピー | 削除。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

Subnet

クラスターに関連付けられたサブネットを表します。このパラメータは、Amazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC) で定義され、MemoryDB で使用されるサブネットを指します。

内容

AvailabilityZone

サブネットが存在するアベイラビリティーゾーン

型: AvailabilityZone オブジェクト

必須: いいえ

Identifier

サブネットの一意の識別子。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SupportedNetworkTypes

このサブネットでサポートされているネットワークタイプ。'ipv4'、'ipv6'、またはその両方を含めることができる文字列の配列を返します。サブネットが IPv4 のみ、IPv6 のみ、またはデュアルスタックのデプロイをサポートしているかどうかを示します。

型: 文字列の配列

有効な値: `ipv4 | ipv6 | dual_stack`

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2

- AWS SDK for Ruby V3

SubnetGroup

次のいずれかのオペレーションの出力を表します。

- CreateSubnetGroup
- UpdateSubnetGroup

サブネットグループ は、Amazon Virtual Private Cloud (VPC) 環境で実行しているクラスターに対して指定できるサブネット (通常はプライベート) の集合です。

内容

ARN

サブネットグループの ARN (Amazon リソースネーム)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Description

サブネットグループの説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

サブネットグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Subnets

サブネットグループに関連付けられるサブネットのリスト。

タイプ: Subnet オブジェクトの配列

必須: いいえ

SupportedNetworkTypes

このサブネットグループでサポートされているネットワークタイプ。このサブネットグループにデプロイされたクラスターに使用できる IP アドレスタイプを示す、「ipv4」、「ipv6」、またはその両方を含む文字列の配列を返します。

型: 文字列の配列

有効な値: `ipv4 | ipv6 | dual_stack`

必須：いいえ

VpcId

サブネットグループの Amazon Virtual Private Cloud 識別子 (VPC ID)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

Tag

MemoryDB リソースに追加できるタグ。タグは、キーと値のペアで構成されています。タグを使用してすべての MemoryDB リソースを分類および追跡できます。クラスターでタグを追加または削除すると、それらのアクションはクラスター内のすべてのノードに複製されます。null 値のタグが許可されます。詳細については、「Tagging your MemoryDB resources」を参照してください。

内容

Key

タグのキー。null であってはなりません。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Value

タグの値。null の可能性もあります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

UnprocessedCluster

更新に失敗したクラスター

内容

ClusterName

クラスターの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ErrorMessage

更新失敗に関連付けられたエラーメッセージ

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ErrorType

更新失敗に関連付けられたエラーの種類

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

User

ユーザーを作成し、アクセス文字列を使用して特定のアクセス許可を割り当てます。特定のロール (管理者、人事) と連携したアクセスコントロールリストにユーザーを割り当てます。その後、それらは 1 つ以上の MemoryDB クラスターにデプロイされます。

内容

AccessString

このユーザーに使用されるアクセス許可文字列。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ACLNames

ユーザーが所属するアクセスコントロールリストの名前。

型: 文字列の配列

長さの制限：最小長 1、

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-]*`

必須: いいえ

ARN

ユーザーの Amazon リソースネーム（ARN）。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Authentication

ユーザーが認証にパスワードを要求するかどうかを示します。

型: Authentication オブジェクト

必須: いいえ

MinimumEngineVersion

ユーザーがサポートする最小のエンジンバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

ユーザーの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

ユーザーステータスを示します。「アクティブ」、「変更中」、または「削除中」になります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AWS SDK for C++
- AWS SDK for Java V2
- AWS SDK for Ruby V3

共通パラメータ

次のリストには、すべてのアクションが署名バージョン 4 リクエストにクエリ文字列で署名するために使用するパラメータを示します。アクション固有のパラメータは、アクションのトピックに示されています。署名バージョン 4 の詳細については、IAM ユーザーガイドの AWS API リクエストの署名を参照してください。

Action

実行するアクション。

型: 文字列

必須: はい

Version

リクエストが想定している API バージョンである、YYYY-MM-DD 形式で表示されます。

型: 文字列

必須: はい

X-Amz-Algorithm

リクエストの署名を作成するのに使用したハッシュアルゴリズム。

条件: HTTP 認可ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

有効な値: `AWS4-HMAC-SHA256`

必須: 条件による

X-Amz-Credential

認証情報スコープの値で、アクセスキー、日付、対象とするリージョン、リクエストしているサービス、および終了文字列 ("aws4_request") を含む文字列です。値は次の形式で表現されます。[access_key/YYYYYYYYMMDD/リージョン/サービス/aws4_request]

詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「署名付き AWS API リクエストの作成」を参照してください。

条件: HTTP 認可ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-Date

署名を作成するときに使用する日付です。形式は ISO 8601 基本形式の YYYYMMDD'T'HHMMSS'Z' でなければなりません。例えば、日付 `20120325T120000Z` は、有効な X-Amz-Date の値です。

条件: X-Amz-Date はすべてのリクエストに対してオプションです。署名リクエストで使用する日付よりも優先される日付として使用できます。ISO 8601 ベーシック形式で日付ヘッダーが指定されている場合、X-Amz-Date は必要ありません。X-Amz-Date を使用すると、常に Date ヘッダーの値よりも優先されます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の AWS 「API リクエスト署名の要素」を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-Security-Token

AWS Security Token Service () の呼び出しによって取得された一時的なセキュリティトークン AWS STS。 AWS STSの一時的なセキュリティ認証情報をサポートするサービスのリストについては、「IAM ユーザーガイド」の「IAM と連携するAWS のサービス」を参照してください。

条件: の一時的なセキュリティ認証情報を使用している場合は AWS STS、セキュリティトークンを含める必要があります。

タイプ: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-Signature

署名する文字列と派生署名キーから計算された 16 進符号化署名を指定します。

条件: HTTP 認可ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-SignedHeaders

正規リクエストの一部として含まれていたすべての HTTP ヘッダーを指定します。署名付きヘッダーの指定の詳細については、IAM ユーザーガイドの「署名付き AWS API リクエストの作成」を参照してください。

条件: HTTP 認可ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

共通エラー

このセクションでは、すべての AWS サービスの API アクションに共通するエラーを一覧表示します。このサービスの API アクションに固有のエラーについては、その API アクションのトピックを参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 400

IncompleteSignature

リクエスト署名が AWS 標準に準拠していません。

HTTP ステータスコード: 400

InternalFailure

リクエストの処理が、不明なエラー、例外、または障害により実行できませんでした。

HTTP ステータスコード: 500

InvalidAction

リクエストされたアクション、またはオペレーションは無効です。アクションが正しく入力されていることを確認してください。

HTTP ステータスコード: 400

InvalidClientTokenId

指定された X.509 証明書または AWS アクセスキー ID がレコードに存在しません。

HTTP ステータスコード: 403

NotAuthorized

このアクションを実行するためのアクセス許可がありません。

HTTP ステータスコード: 400

OptInRequired

AWS アクセスキー ID には、サービスのサブスクリプションが必要です。

HTTP ステータスコード: 403

RequestExpired

リクエストの日付スタンプの 15 分以上後またはリクエストの有効期限 (署名付き URL の場合など) の 15 分以上後に、リクエストが到着しました。または、リクエストの日付スタンプが現在より 15 分以上先です。

HTTP ステータスコード: 400

ServiceUnavailable

サーバーの一時的な障害により、リクエストは失敗しました。

HTTP ステータスコード: 503

ThrottlingException

リクエストのスロットリングにより、リクエストが拒否されました。

HTTP ステータスコード: 400

ValidationError

入力が AWS サービスで指定された制約を満たしていません。

HTTP ステータスコード: 400

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。